

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	道路改良事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	01	道路改良事業

実施計画整理番号	
301010101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 道路利用者が安心・安全に通行できるよう、道路整備を行う。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 道路事業用地の取得及び支障物件の移転補償、道路改良工事の設計、工事、施工管理を実施する。
令和元年度の具体的な目標 圏央道アクセス …整備を進め早期執行、早期完成に努める。 幹線道路、生活道路の整備 …繰越した1級12号線他2路線の委託及び工事を発注し、早期執行に努める。また安全性、利便性の向上を図る。	令和元年度スケジュール 圏央道アクセス …委託及び工事を上半期に発注する。 幹線道路、生活道路の整備 …用地買収や測量の影響を受けない箇所については上半期に発注する。またその他の箇所についてもできるだけ早期に発注し繰越しをしない。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	174,542	173,572	122,460	166,600	174,510	107,203	99,752	120,860	91,814	54,350	0	0	
財源内訳	国補助	千円	82,500	82,500	50,875	77,000	62,660	45,166	32,444	32,444	22,016	2,500	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	82,800	82,800	59,000	80,600	101,300	52,100	60,000	60,000	56,500	45,700	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	9,242	8,272	12,585	9,000	10,550	9,937	7,308	28,416	13,298	6,150	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	圏央道アクセス道路の整備	67,460	67,571	53,124	1-15は契約繰越した。R2年度完成予定。 1-16は一部明許繰越した。
②	幹線道路(市道1級、2級)の整備	32,292	17,238	10,656	1-8は明許繰越した。 1-12は予定していた事業は完了した。 引続き事業を進める。
③	生活道路(市道3級)の整備	0	35,349	27,332	3-3023他2路線は予定していた事業は完了した。 3-5036他1路線は1路線は明許繰越した。 引続き事業を進める。
④	生活道路(法定外等)の整備	0	702	702	法定外道路は予定していた事業は完了した。
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		99,752	120,860	91,814	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・1-15、1-16の工事を実施した。工事延長L=557.8m
- ・1-12他5路線の工事を実施した。工事延長L=188.3m

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	301010101
3	01	01	01	道路改良事業	7	01	03	01	道路改良事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	道路改良箇所数 10箇所 市道1級15号線他7路線において道路改良工事を実施した。 市道1級8号線他1路線において用地測量を実施した。					56箇所／167箇所＝33.539%				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である 茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用出来るような整備をした。また、市民からの要望も多い。		A:有効である 用地買収は、概ねの了承を得られ、また、幹線道路及び生活道路は、安心・安全に通行出来る道路整備が行えた。			B:やや効率的である 一部の路線で暫定形での整備を行ない、コスト削減に努力している。地元調整及び用地交渉に多大な時間を費やしてしまう。				
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会回覧を行っている。また必要な箇所においては地元説明会を実施している。		B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会の意見収集。			B:実現に向けて取り組んでいる 用地買収について、自治会に関係地権者への協力依頼を行っている。また自治会回覧で住民への周知について協力依頼を行っている。				
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割～7割)		圏央道アクセス道路の1級15号線については、令和元年度10月25日の大雨災害の影響により工事を契約繰越した。1級16号線については、関係機関との調整に時間を要し、工事を繰越した。引続き完成に向けて事業を進める。幹線道路、生活道路の整備は、1級8号線他6路線の事業を進めていたが、関係機関との調整に時間を要し、3路線について繰越した。複数の路線を継続実施しているが、住民要望は増加しており要望に対する進捗率が図れない状況であり、事業費増による対策が必要である。								
企画政策課での評価とその理由										
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割～7割)		各道路整備により、道路利用者の安全・安心な通行に成果があった事業と認めることができる。引き続き、地元調整及び用地交渉に取り組むとともに、利用者の安全性・利便性の向上を図るものとする。また、増加する住民要望に対しては今後も丁寧な説明に努めていただきたい。								
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
	道路改良箇所数					整備率(着手箇所／要望箇所)				
令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
圏央道アクセス …整備を進め早期執行、早期完成に努める。 幹線道路、生活道路の整備 …繰越した1級8号線他2路線の委託及び工事を発注し、早期執行に努める。また安全性、利便性の向上を図る。					圏央道アクセス …委託及び工事を上半期に発注する。 幹線道路、生活道路の整備 …用地買収や測量の影響を受けない箇所については上半期に発注する。またその他の箇所についてもできるだけ早期に発注し繰越しをしない。					

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	道路舗装新設事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	02	道路舗装新設事業

実施計画整理番号	
301010102	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	道路利用者が安心・安全に通行できるように道路整備を行う。	未舗装道路の舗装工事の実施
	令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
	予定している3路線について、早期発注を目指す。	予定している3路線について、上半期中の工事発注を行う。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	6,036	7,976	7,976	6,036	9,872	6,070	1,650	5,150	5,143	1,650	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	6,036	7,976	7,976	6,036	9,872	6,070	1,650	5,150	5,143	1,650	0

DO (実施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	道路舗装新設工事	1,650	5,150	5,143	法定外道路粟生野地先他2路線の工事が完了した。市内各所の要望について継続して整備を行う。
	②					
	③					
	④					
	⑤					
	⑥					
	⑦					
	⑧					
	⑨					
⑩						
事業費計			1,650	5,150	5,143	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

・法定外道路粟生野地先他2路線の工事を実施した。工事延長L=329m

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	道路舗装新設事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	02	道路舗装新設事業

整理番号
301010102

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	道路舗装整備延長距離 329m		整備率 47,001m/72,144m 65.15%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用できるような整備を行っている。また、市民からの要望も多い。	A:有効である	生活道路における未整備路線を安心・安全に利用できるような整備が図られた。	B:やや効率的である	事業箇所の選択・集中を行い、コスト削減を図る必要がある。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会回覧を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会長や関係者と協議を行っている。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	繰越、当初及び補正予算の予定路線の整備が概ね図れた。 住民要望は増加しており、要望に対して進捗が図れない状況であり、事業費の増による対策が必要である。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	道路利用者の安全・安心な通行に成果があった事業と認められるものである。引き続き、計画的な環境整備を行うことで道路利用者の安全・安心を図るとともに、住民からの要望について丁寧な対応に努めていただきたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	道路舗装延長距離		整備率	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
予定している3路線について、早期発注を目指す。		予定している3路線について、上半期中の工事発注を行う。		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	道路橋梁維持補修費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	02	道路橋梁維持補修費

実施計画整理番号	
301010103	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
生活環境の保全及び交通の円滑化と事故防止のため、道路補修を実施する。	道路舗装の点検を行い、それを基に修繕計画を作成し計画的に修繕を実施する。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
起債事業を活用し、道路舗装修繕を行う。	路面性状調査の結果を基に、早急な修繕が必要な区間を優先的に補修し、安心・安全な通行を保つ。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	198,911	214,107	134,842	224,000	138,061	136,947	116,520	86,429	85,034	106,956	0	0	
財源内訳	国補助	千円	97,042	97,042	19,496	113,300	16,892	16,417	31,090	2,196	2,178	28,894	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	71,400	71,400	72,300	83,400	77,200	74,700	59,800	19,900	19,700	58,200	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	30,469	45,665	43,046	27,300	43,969	45,830	25,630	64,333	63,156	19,862	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	道路長寿命化修繕業務	8,574	8,574	7,939	各修繕計画に基づき補修を実施。今後も点検結果に基づき長寿命化を図っていく。
②	道路付属物・のり面設計業務	0	0	0	
③	道路付属物・のり面補修工事	0	0	0	
④	幹線道路(市道1・2級)の舗装補修工事	57,789	18,945	18,700	国からの補助金が削減され、施工範囲が縮小された。引続き、道路の舗装補修を実施していく。
⑤	幹線道路(市道3級・法定外)の舗装補修工事	38,190	44,544	44,409	当該年度の補修予定箇所は概ね執行済み。引続き、道路の舗装・維持補修工事を実施していく。
⑥	道路補修用資機材の調達・保守	11,967	14,366	13,986	当該年度の機材等は概ね調達出来た。継続的に補修用資機材を調達し、道路の維持補を実施していく。
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		116,520	86,429	85,034	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・道路舗装補修工事 11箇所
- ・道路維持補修工事 6箇所
- ・常温合材・加熱アスファルト・U字溝等購入

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	道路橋梁維持補修費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	02	道路橋梁維持補修費

整理番号
301010103

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
道路舗装補修工事 11箇所 道路維持補修工事 6箇所	交通の円滑化と事故防止が図られた箇所数 舗装補修 11箇所 維持補修 6箇所				
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	市が管理する道路であり、市が舗装修繕する必要がある。	A:有効である	道路舗装補修を実施することで交通の円滑化と事故防止が図られた。	B:やや効率的である	道路舗装補修が一部にとどまっている為。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
C:実現の余地がない	道路の維持補修工事であり、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	道路の維持補修工事であり、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	道路の維持補修工事であり、取り組む余地がない。
所管による評価とその理由、課題・問題点					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当該年度の執行は概ね予定通りであったが、道路舗装の補修をすべき箇所が多数残っている。				
企画政策課での評価とその理由					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当初の予定どおりに事業実施されていることから一定の成果が挙げられていると認められる。引き続き、補修が必要な個所の把握に努め、計画的な事業実施を進めていただきたい。				
政策調整会議での評価とその理由					
(斜線表示)					
庁議における方針					
(斜線表示)					

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定		
道路舗装補修箇所数 11箇所 道路維持補修箇所数 6箇所	交通の円滑化と事故防止が図られた箇所数(修繕が完了した箇所数) 道路舗装補修整備率 71.0% 道路維持補修整備率 85.6%		
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール	
起債事業を活用し、道路舗装修繕を行う。		路面性状調査の結果を基に、早急な修繕が必要な区間を優先的に補修し、安心・安全な通行を保つ。	

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	橋梁長寿命化修繕事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	02	橋梁長寿命化修繕事業

実施計画整理番号	
301010104	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
市管理の橋梁について、計画的な予防保全的維持管理に転換を図り、長寿命化によるコスト縮減と併せて地域の道路網の安全性と信頼性を向上させる。	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、順次橋梁の修繕を実施し、定期的に橋梁点検を行う。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
国の補助金を活用し橋梁の点検・補修設計・修繕工事を行う。	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づいた事業遂行を図る。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	164,993	147,580	147,507	197,550	189,806	164,008	95,781	143,234	82,881	15,000	0	0	
財源内訳	国補助	千円	90,745	81,168	81,114	108,652	95,172	86,310	52,679	72,637	39,484	8,250	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	59,000	52,900	52,000	80,000	74,800	53,400	31,000	46,500	29,000	6,000	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	15,248	13,512	14,393	8,898	19,834	24,298	12,102	24,097	14,397	750	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	点検業務	18,942	17,050	0	R1年度災害により23橋の点検を実施。(繰越)継続的に橋梁点検を実施していく。
②	修繕・耐震工事の設計業務	9,196	8,800	8,800	3橋の橋梁補修設計を実施。引続き、修繕計画に基づき設計業務を実施していく。
③	長寿命化修繕及び耐震工事	67,643	117,384	74,081	3橋の橋梁修繕を実施したが、災害により2橋が繰越となった。引続き、修繕計画に基づき橋梁の修繕を実施していく。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		95,781	143,234	82,881	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・橋梁点検業務委託 - 橋(R2へ繰越/点検予定23橋)
- ・橋梁補修設計業務委託 3 橋
- ・橋梁修繕工事 1 橋(R2へ昌平橋、新川代橋の2橋を繰越し)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	橋梁長寿命化修繕事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	02	橋梁長寿命化修繕事業

整理番号
301010104

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況												
橋梁点検 0橋(R2年度に23橋繰越) 橋梁補修設計 3橋 橋梁修繕工事 1橋(R2年度に2橋繰越)	道路網の安全性と信頼性を向上できた箇所数(橋梁補修設計 3橋、 橋梁修繕工事 1橋)												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">妥当性の評価とその理由</th> <th colspan="2">有効性の評価とその理由</th> <th colspan="2">効率性の評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">A:妥当である</td> <td style="width: 35%;">市が管理する橋梁の為、市が主体的に修繕を行う必要がある。</td> <td style="width: 15%;">A:有効である</td> <td style="width: 35%;">橋梁の点検及び補修設計により、地域の道路網の安全性と信頼性の向上に寄与した。</td> <td style="width: 15%;">B:やや効率的である</td> <td style="width: 35%;">市管理橋梁の修繕工事が一部とどまったため。</td> </tr> </tbody> </table>		妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由		A:妥当である	市が管理する橋梁の為、市が主体的に修繕を行う必要がある。	A:有効である	橋梁の点検及び補修設計により、地域の道路網の安全性と信頼性の向上に寄与した。	B:やや効率的である	市管理橋梁の修繕工事が一部とどまったため。
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由									
A:妥当である	市が管理する橋梁の為、市が主体的に修繕を行う必要がある。	A:有効である	橋梁の点検及び補修設計により、地域の道路網の安全性と信頼性の向上に寄与した。	B:やや効率的である	市管理橋梁の修繕工事が一部とどまったため。								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th colspan="2">「参加」の状況とその理由</th> <th colspan="2">「協働」の状況とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">C:実現の余地がない</td> <td style="width: 35%;">橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。</td> <td style="width: 15%;">C:実現の余地がない</td> <td style="width: 35%;">橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。</td> <td style="width: 15%;">C:実現の余地がない</td> <td style="width: 35%;">橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。</td> </tr> </tbody> </table>		「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由		C:実現の余地がない	橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。	C:実現の余地がない	橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。	C:実現の余地がない	橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由									
C:実現の余地がない	橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。	C:実現の余地がない	橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。	C:実現の余地がない	橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">所管による評価とその理由、課題・問題点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</td> <td style="width: 85%;">当該年度の執行は概ね予定通りであったが、市で修繕すべき橋梁が多数残っている。</td> </tr> </tbody> </table>		所管による評価とその理由、課題・問題点		A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当該年度の執行は概ね予定通りであったが、市で修繕すべき橋梁が多数残っている。								
所管による評価とその理由、課題・問題点													
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当該年度の執行は概ね予定通りであったが、市で修繕すべき橋梁が多数残っている。												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">企画政策課での評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;">B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)</td> <td style="width: 85%;">概ね計画どおりに進捗しており、一定の成果があったと認められる。引き続き、計画的な維持管理を実施することで、地域の道路網の安全性と信頼性の向上に努めていただきたい。</td> </tr> </tbody> </table>		企画政策課での評価とその理由		B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	概ね計画どおりに進捗しており、一定の成果があったと認められる。引き続き、計画的な維持管理を実施することで、地域の道路網の安全性と信頼性の向上に努めていただきたい。								
企画政策課での評価とその理由													
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	概ね計画どおりに進捗しており、一定の成果があったと認められる。引き続き、計画的な維持管理を実施することで、地域の道路網の安全性と信頼性の向上に努めていただきたい。												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">政策調整会議での評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 85%;"></td> </tr> </tbody> </table>		政策調整会議での評価とその理由											
政策調整会議での評価とその理由													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">庁議における方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 85%;"></td> </tr> </tbody> </table>		庁議における方針											
庁議における方針													

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
国の補助金を活用し橋梁の点検・補修設計・修繕工事を行う。 ・橋梁点検 33橋(繰越23橋+R2年度10橋) ・橋梁補修設計 3橋 ・橋梁修繕工事 6橋(繰越2橋+R2年度4橋)	道路網の安全性と信頼性を向上できた箇所数 着手率:94%(15橋/16橋) 修繕率:69%(11橋/16橋)				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>令和2年度における具体的な目標</th> <th>令和2年度における事務事業スケジュール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 50%;">国の補助金を活用し橋梁の点検・補修設計・修繕工事を行う。</td> <td style="width: 50%;">「橋梁長寿命化修繕計画」に基づいた事業遂行を図る。</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度における具体的な目標	令和2年度における事務事業スケジュール	国の補助金を活用し橋梁の点検・補修設計・修繕工事を行う。	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づいた事業遂行を図る。
令和2年度における具体的な目標	令和2年度における事務事業スケジュール				
国の補助金を活用し橋梁の点検・補修設計・修繕工事を行う。	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づいた事業遂行を図る。				

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	02	01	02	河川改修事業(乗川)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	03	01	河川改修事業

実施計画整理番号	
302010201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何をを行うか)
流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図る。	河川改修に必要な用地取得を進める。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 下流域の護岸詳細設計を完了する。 区画道路1号の橋梁架替に係る工事用進入路及び取付道路工事を完了する。 	委託(7月～3月) 工事(9月～3月)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	7,880	19,382	11,627	11,880	5,537	5,537	13,400	40,881	3,795	0	0	0	
財源内訳	国補助	千円	2,626	2,626	3,428	3,960	1,461	1,461	4,466	4,466	1,265	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	4,700	4,700	6,200	7,100	2,700	2,700	8,000	8,000	2,200	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	554	12,056	1,999	820	1,376	1,376	934	28,415	330	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	護岸詳細設計	13,400	40,881	3,795	護岸詳細設計の発注を実施した。
②	橋梁架替工事	0	0	0	
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		13,400	40,881	3,795	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
下流域の護岸詳細設計の発注(令和2年度繰越) 物件調査業務委託の実施

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	02	01	02	河川改修事業(乗川)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	03	01	河川改修事業

整理番号
302010201

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	下流域の護岸詳細設計の発注		下流域の護岸詳細設計の実施 物件調査業務委託の実施			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する。	A:有効である	安全で豊かな地域社会の保全	A:効率的である	国の社会資本整備総合交付金により実施。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	その他	今後の事業進捗に伴い、必要に応じて説明会等を実施する。	その他	今後の事業進捗に伴い、必要に応じて説明会等を実施する。	その他	今後の事業進捗に伴い、地元自治会や関係者の意見を聴取する。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	護岸詳細設計の発注を実施したが、繰越となった。また、早期の工事着工が地元から求められている。				
	企画政策課での評価とその理由					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図るため、今後とも計画的かつ効率的な実施に努めるものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	・用地買収した面積		・用地取得率	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> ・用地買収1件を進める。(繰越事業) ・護岸詳細設計(繰越事業) 		<ul style="list-style-type: none"> ・用地(12月~3月) ・設計(令和元年度繰越~12月) 		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	02	01	02	河川改修事業(梅田川)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	03	01	河川改修事業

実施計画整理番号	
302010202	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
PLAN (計画)	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)
	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	令和元年度の具体的な目標
	令和元年度スケジュール
	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図る。
	(仮)早野排水機場の設置を行う。
	樋管工及び本体工の工事着手
	設計書作成(4月～6月) 入札・契約(7月～9月) 工事(9月～3月)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	48,314	45,713	12,213	142,500	145,549	124,840	171,964	447,017	89,058	855,743	0	0	
財源内訳	国補助	千円	16,000	16,000	3,744	47,500	47,256	41,455	57,322	57,322	29,686	285,247	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	29,000	29,000	6,900	85,500	87,100	76,600	103,200	103,200	53,400	513,400	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,314	713	1,569	9,500	11,193	6,785	11,442	286,495	5,972	57,096	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	早野排水機場整備	171,964	447,017	89,058	樋管工及び本体工に着手した。今後、ポンプ工の着手を目指す。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		171,964	447,017	89,058	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
早野排水機場の樋管工を実施。 早野排水機場の本体工を実施。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	02	01	02	河川改修事業(梅田川)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	03	01	河川改修事業

整理番号
302010202

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	早野排水機場樋管工事の実施(令和2年度繰越) 早野排水機場本体工事の実施(2か年工期)		令和4年度中の早野排水機場設置に向けて工事に着手した。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する。	A:有効である	安全で豊かな地域社会の保全に資する。	A:効率的である	国の社会資本整備総合交付金により実施。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B:実現に向けて取り組んでいる	一宮川流域浸水対策協議会や自治会回覧で計画及び進捗状況の説明に努めている。	B:実現に向けて取り組んでいる	一宮川流域浸水対策協議会や自治会回覧で計画及び進捗状況の説明に努めている。	B:実現に向けて取り組んでいる	一宮川流域浸水対策協議会において、事業評価や改善検討を行っている。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	早野排水機場の樋管工及び本体工に着手でき一定の成果があったが、樋管工については繰越となった。課題としては、今後も工事費に多額の費用が必要となってくる。				
	企画政策課での評価とその理由					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	早野排水機場の本体工事にも着手し、事業の進捗について一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、地域住民への説明に努めるとともに、排水機場完成に向けて計画的な事業実施に努めていただきたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	早野排水機場整備に係る工事執行		令和4年度中に早野排水機場を設置	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
早野排水機場樋管工事の完了(繰越事業) 早野排水機場本体工事の完了(2か年工期) 早野排水機場函渠工工事の完了(繰越事業) 早野排水機場ポンプ設備工の工事着手		早野排水機場樋管工事(令和元年度繰越~4月) 早野排水機場本体工事(令和元年度繰越~12月) 早野排水機場函渠工事(令和元年度繰越~10月) 早野排水機場ポンプ設備工事(7月~R4.3月)		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	03	01	合併処理浄化槽設置促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	02	浄化槽対策事業

実施計画整理番号	
304030101	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	合併処理浄化槽設置促進について、単独処理浄化槽及びくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換設置に対する補助制度を継続するとともに、浄化槽の機能を発揮させるため設置者への指導や広報紙等による啓発を行い、公共用水域の水質汚濁防止に努める。	単独処理浄化槽及びくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換設置する市民に対し補助金を交付する。
	令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
単独処理浄化槽からの転換18基、くみ取り便槽からの転換7基を実施する。	4月ホームページ掲載 4月10月広報掲載	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	9,190	9,190	7,240	9,190	9,190	7,090	13,448	13,448	12,380	13,448	0	0	
財源内訳	国補助	千円	1,750	1,750	0	1,750	1,750	980	2,616	2,616	2,906	2,616	0	0
	県補助	千円	3,720	3,720	0	3,720	3,720	2,880	5,416	5,416	4,737	5,416	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,720	3,720	7,240	3,720	3,720	3,230	5,416	5,416	4,737	5,416	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	合併処理浄化槽の設置促進	13,448	13,448	12,380	設置補助20基、一定の成果を挙げた。引き続き促進を図る。
②	広報による浄化槽の適正管理の推進	0	0	0	概ね達成できた。引き続き推進する。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		13,448	13,448	12,380	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
令和元年度合併処理浄化槽設置整備補助金 単独処理浄化槽から転換 5人槽612,000円×14基=8,568,000円/7人槽694,000円×2基=1,388,000円/10人槽828,000円×1基=828,000円 くみ取り便槽から転換 5人槽532,000円×3基=1,596,000円	

DO (実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目				整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	304030101
3	04	03	01	合併処理浄化槽設置促進事業	4	01	07	02	浄化槽対策事業	

<p>令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況</p> <p>令和元年度合併処理浄化槽補助基数 20基 単独処理浄化槽から転換:5人槽14基、7人槽2基、10人槽1基 くみ取り便槽から転換:5人槽3基</p>	<p>令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況</p> <p>水質汚濁防止が図られた処理人口 60人 令和元年度末合併処理浄化槽処理人口 31,641人</p>						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 33%;">妥当性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">有効性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">効率性の評価とその理由</th> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>A:妥当である</p> <p>単独処理浄化槽及びくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換をする市民に対し補助金を交付した。</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>A:有効である</p> <p>生活排水対策として、地域・建物の用途を定め合併処理浄化槽への転換設置者に対し助成を行い、公共用水域の水質汚濁防止を推進した。</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>A:効率的である</p> <p>浄化槽の機能を発揮させるため、設置者への指導や広報紙等による啓発を行った。</p> </td> </tr> </table>		妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由	<p>A:妥当である</p> <p>単独処理浄化槽及びくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換をする市民に対し補助金を交付した。</p>	<p>A:有効である</p> <p>生活排水対策として、地域・建物の用途を定め合併処理浄化槽への転換設置者に対し助成を行い、公共用水域の水質汚濁防止を推進した。</p>	<p>A:効率的である</p> <p>浄化槽の機能を発揮させるため、設置者への指導や広報紙等による啓発を行った。</p>
妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由					
<p>A:妥当である</p> <p>単独処理浄化槽及びくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換をする市民に対し補助金を交付した。</p>	<p>A:有効である</p> <p>生活排水対策として、地域・建物の用途を定め合併処理浄化槽への転換設置者に対し助成を行い、公共用水域の水質汚濁防止を推進した。</p>	<p>A:効率的である</p> <p>浄化槽の機能を発揮させるため、設置者への指導や広報紙等による啓発を行った。</p>					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 33%;">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「参加」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「協働」の状況とその理由</th> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>A:実現している</p> <p>広報やウェブサイトにより制度の概要について周知している。</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>C:実現の余地がない</p> <p>市民等の参加事業ではない。</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>C:実現の余地がない</p> <p>市民等の協働事業ではない。</p> </td> </tr> </table>		「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由	<p>A:実現している</p> <p>広報やウェブサイトにより制度の概要について周知している。</p>	<p>C:実現の余地がない</p> <p>市民等の参加事業ではない。</p>	<p>C:実現の余地がない</p> <p>市民等の協働事業ではない。</p>
「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由					
<p>A:実現している</p> <p>広報やウェブサイトにより制度の概要について周知している。</p>	<p>C:実現の余地がない</p> <p>市民等の参加事業ではない。</p>	<p>C:実現の余地がない</p> <p>市民等の協働事業ではない。</p>					
<p>所管による評価とその理由、課題・問題点</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; vertical-align: top;"> <p>A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>合併処理浄化槽への転換補助により、公共用水域の水質汚濁の防止のための生活排水対策を促進し、一定の成果を挙げた。 引き続き事業の推進を図る必要がある。</p> </td> </tr> </table>		<p>A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</p>	<p>合併処理浄化槽への転換補助により、公共用水域の水質汚濁の防止のための生活排水対策を促進し、一定の成果を挙げた。 引き続き事業の推進を図る必要がある。</p>				
<p>A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</p>	<p>合併処理浄化槽への転換補助により、公共用水域の水質汚濁の防止のための生活排水対策を促進し、一定の成果を挙げた。 引き続き事業の推進を図る必要がある。</p>						
<p>企画政策課での評価とその理由</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; vertical-align: top;"> <p>B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>合併処理浄化槽への転換設置に対する補助を実施することで、水質汚濁防止に資するものと認めることができる。目標の設置件数に達していないことから、より一層の制度の周知を図ることにより設置促進に努めていただきたい。</p> </td> </tr> </table>		<p>B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)</p>	<p>合併処理浄化槽への転換設置に対する補助を実施することで、水質汚濁防止に資するものと認めることができる。目標の設置件数に達していないことから、より一層の制度の周知を図ることにより設置促進に努めていただきたい。</p>				
<p>B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)</p>	<p>合併処理浄化槽への転換設置に対する補助を実施することで、水質汚濁防止に資するものと認めることができる。目標の設置件数に達していないことから、より一層の制度の周知を図ることにより設置促進に努めていただきたい。</p>						
<p>政策調整会議での評価とその理由</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="height: 50px;"></td> </tr> </table>							
<p>庁議における方針</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="height: 50px;"></td> </tr> </table>							

A C T (改 善)	<p>令和2年度活動指標(アウトプット)の設定</p> <p>補助基数</p>	<p>令和2年度成果指標(アウトカム)の設定</p> <p>水質汚濁防止が図られた処理人口</p>
	<p>令和2年度における具体的な目標</p> <p>単独処理浄化槽からの転換18基、くみ取り便槽からの転換7基を実施する。</p>	<p>令和2年度における事務事業スケジュール</p> <p>4月ホームページ掲載 4月10月広報掲載</p>

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	02	排水整備事業

実施計画整理番号	
304040101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 幹線排水路及び生活排水路を計画的に整備することにより、排水不良の解消及び住環境の整備を図る。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 茂原市排水基本計画に基づき排水施設の整備を進める。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
排水路整備2箇所の実施	排水路整備(5月～3月)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	21,264	29,660	28,053	40,044	34,846	30,823	18,800	33,596	32,221	14,400	0	0
財源内訳	国補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	15,900	15,900	21,000	30,000	25,900	23,100	14,100	14,100	16,200	10,800	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	5,364	13,760	7,053	10,044	8,946	7,723	4,700	19,496	16,021	3,600	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	国府関字當長谷地先	16,000	26,107	26,107	計画した排水路整備が完了した。
②	本納字金谷前地先	2,800	1,274	1,274	計画した排水路整備が完了した。
③	長谷字殿辺田地先	0	5,487	4,840	計画した排水路整備の一部が完了した。継続して残りの排水路整備を実施していく。
④	渋谷字堰田地先	0	728	0	用地買収の難航に伴う計画変更
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		18,800	33,596	32,221	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・国府関字當長谷地先 整備延長 L=30.1m
- ・国府関字當長谷地先その2 整備延長 L=23.4m
- ・本納字金谷前 整備延長 L=37.0m
- ・長谷字殿辺田地先 整備延長 L=100.0m

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	02	排水整備事業

整理番号
304040101

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	排水不良箇所の整備箇所数 3箇所(継続箇所)		整備率(着手率) 107箇所/191箇所 56%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	排水不良が解消され生活環境の向上に資する。	A:有効である	排水不良が解消された。	B:やや効率的である	事業箇所の選択と集中を行い、コスト縮減を図る必要がある。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会回覧を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会長や関係者と協議を行っている。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	予定箇所の整備が図られた。地域住民からの整備要望が多く、要望に対して進捗が図れない状況である。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	概ね計画どおり進捗しており、一定の成果が挙げられている。引き続き、計画的な事業実施を図るとともに、地域住民への丁寧な説明に努めていただきたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	排水不良箇所の整備箇所数		整備率(着手率)	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
排水路整備1箇所の実施		排水路整備(5月～3月)		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	内水対策関連事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	01	内水対策関連事業

実施計画整理番号	
304040102	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
平成25年10月の台風26号に伴う浸水被害を受け、同程度の大雨による床上床下被害を大幅に軽減することを目標に対策を行う。	床上床下の浸水被害が大きい地区の水門に排水ポンプ施設を設置し早期に被害軽減を図る。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
長清水水門のポンプ躯体工事の完了 長清水水門のポンプ機械設備工事の完了 鷺巣稲荷前水門のポンプ躯体工事の完了	長清水水門のポンプ躯体工事(H30繰越～10月) 長清水水門のポンプ機械設備工事(9月～3月) 鷺巣稲荷前水門のポンプ躯体工事(7月～2月)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	220,702	333,616	124,913	107,861	337,669	281,429	399,597	386,693	189,217	139,510	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	32,000	32,000	18,000	32,000	64,000	32,000	32,000	32,000	54,296	0	0
	市債	千円	141,500	141,500	80,100	56,800	205,300	187,000	275,600	275,600	140,800	63,900	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	47,202	160,116	26,813	19,061	68,369	62,429	91,997	79,093	16,417	21,314	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	長清水水門(排水ポンプ設置)	302,397	305,525	158,017	排水ポンプ整備に係る躯体工事が完了した。引き続き、設備工事を実施し被害軽減を図る。
②	鷺巣稲荷前水門(排水ポンプ設置)	97,200	79,680	29,720	排水ポンプ整備に係る躯体工事に着手し、引き続き、設備工事を実施し被害軽減を図る。
③	上永吉冬田地区	0	0	0	
④	東茂原地区	0	0	0	
⑤	早野妙明光区	0	0	0	
⑥	東郷地先水門(排水ポンプ設置)	0	1,488	1,480	地上権の設定及び地盤変動により生じた建物等損傷補償を実施。
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		399,597	386,693	189,217	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・長清水水門のポンプ躯体工事を実施。
- ・長清水水門のポンプ電気盤設置工事を実施。
- ・長清水水門のポンプ機械設備工事を実施。
- ・鷺巣稲荷前水門のポンプ躯体工事を実施。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	内水対策関連事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	01	内水対策関連事業

整理番号
304040102

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	長清水水門のポンプ躯体工事の完了 長清水水門のポンプ機械設備工事の実施(令和2年度繰越) 鷺巣稲荷前水門のポンプ躯体工事の実施(令和2年度繰越)		長清水水門のポンプ躯体工事の完了			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する。	A:有効である	安全で豊かな地域社会の保全に資する。	B:やや効率的である	事業箇所を選択と集中により、効率の向上が見込める余地がある。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会回覧等において整備に関する説明を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会等から整備に関する意見を受けている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元調整が必要な事案について、自治会等と協議を行っている。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	長清水水門のポンプ躯体工事は完了したが、ポンプ機械設備工事は繰越となった。また、鷺巣稲荷前水門のポンプ躯体工事を進めたが繰越となった。				
	企画政策課での評価とその理由					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	流域の浸水被害軽減に資する事業と認めることができる。引き続き、地域住民と意見交換を図りながら計画的及び効率的な事業実施に努めていただきたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	内水排除ポンプ設置(長清水水門) 完了 1箇所 内水排除ポンプ設置(鷺巣稲荷前水門) 躯体工事の完了 1箇所		内水排除ポンプ設置	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
長清水水門のポンプ設備工事の完了 鷺巣稲荷前水門のポンプ躯体工事の完了(繰越事業)		長清水水門のポンプ設備工事(6月~3月) 鷺巣稲荷前水門のポンプ躯体工事の完了(令和元年度繰越~6月)		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	道路排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	05	道路排水新設事業

実施計画整理番号	
304040103	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 道路利用者の安全性を確保するために、道路排水不良箇所の整備を行う。道路排水整備工事の実施	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 令和元年度の具体的な目標 3級8184号線他予定された箇所について、早期発注を目指す。
令和元年度スケジュール 予定している2路線について上半期の発注を行う。 また繰越明許した1路線については早期に発注する。	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	9,951	17,538	17,445	5,622	19,149	14,405	7,040	17,293	16,097	6,600	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	14,300	10,800	5,200	5,200	7,700	4,900	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	9,951	17,538	17,445	5,622	4,849	3,605	1,840	12,093	8,397	1,700	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	道路排水整備事業	7,040	17,293	16,097	3-5008外2路線の整備が完了した。 3-5008については繰越明許した。 市内各所の要望について継続して整備を行う。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		7,040	17,293	16,097	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
・3-5008他2路線の工事を実施した。工事延長L=210.9m	

PLAN(計画)

DO(実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	道路排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	05	道路排水新設事業

整理番号
304040103

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況
排水不良箇所の整備箇所数 3箇所	整備(着手)率 85箇所/340箇所 25.00%

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用できるような整備をした。また、市民からの要望も多い。	A:有効である	排水不良箇所の解消が図れた。	B:やや効率的である	事業箇所の選択・集中を行い、コスト削減を図る必要がある。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
B:実現に向けて取り組んでいる	自治会回覧を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会長や関係者と協議を行っている。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	繰越、当初及び補正予算の予定路線の整備が概ね図れた。(1路線の工事を繰越明許した。)複数路線を継続して実施しているが、住民要望は増加しており、要望に対して進捗が図れない状況であり、事業費の増による対策が必要である。

企画政策課での評価とその理由	
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	概ね予定どおりに進捗していると認められる。引き続き、地元自治会及び関係者との協議を行いながら計画的、効率的な事業実施に努めることで、道路利用者の安全性の確保を図っていただきたい。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定
排水不良箇所の整備箇所数	整備(着手)率

令和2年度における具体的な目標	令和2年度における事務事業スケジュール
3級6051号線他予定された箇所について、早期発注を目指す。	予定している2路線について上半期の発注を行う。また繰越明許した1路線については早期に発注する。

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	02	03	緑化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	06	02	緑化推進事業

実施計画整理番号	
305020301	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何をを行うか)
緑のある美しいまちづくりを進めるため、公共施設へ緑や花の植栽に努めるとともに、自治会等に市の花コスモスの種子を配布するなど、全市的な「花いっぱい運動」を展開し、普及を図ることを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への緑や花の植栽 自治会等に市の花コスモスの種子配布 花いっぱいコンクールの実施
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 茂原駅ロータリー、公民館前の花壇への植栽 公共施設等に草花を配布 自治会等に市の花コスモスの種子を配布 花いっぱいコンクールを年2回(春・秋)開催 花いっぱい運動推進協議会の活動支援のため補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への草花の植栽(通年) 自治会等に市の花コスモスの種子の配布 花いっぱいコンクールの実施(春・秋) 花いっぱい運動推進協議会の運営(通年)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	2,331	2,331	2,298	2,269	2,257	2,246	2,316	2,316	2,124	2,290	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	10	10	10	10	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,321	2,321	2,288	2,259	2,257	2,246	2,316	2,316	2,124	2,290	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	公共施設への緑や花の植栽	1,763	1,763	1,590	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	自治会等に市の花コスモスの種子配布	381	381	381	概ね達成できた。引き続き実施する。
③	花いっぱいコンクールの実施	82	82	63	概ね達成できた。引き続き実施する。
④	花いっぱい運動推進協議会の運営	90	90	90	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		2,316	2,316	2,124	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・茂原駅南口東口ロータリー花壇及び庁舎南側駐車場花壇等への草花の植栽及び公共施設等に草花を配布した。
- ・自治会等に市の花コスモスの種子を配布した。(150L)
- ・花いっぱいコンクールを年2回(春秋)開催した。
- ・花いっぱい運動推進協議会の活動を支援するため補助金を交付した。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	02	03	緑化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	06	02	緑化推進事業

整理番号
305020301

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への草花の植栽(9,770苗) ・自治会等に市の花コスモスの種子を配付(150L) ・花いっぱいコンクールの実施(春秋) ・花いっぱい運動推進協議会の運営 		<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱいコンクール参加者数(4個人29団体) ・地域の花壇数(15箇所) 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	公共施設へ草花を植栽し緑ある美しいまちづくりを推進した。	A:有効である	自治会等に市の花コスモスの種子を配付、花いっぱいコンクールを開催することで全市的な運動を展開した。	A:効率的である	千葉県まちづくり公社から寄付を受けた花苗を自治会等に配布するなど有効活用した。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	広報紙や市ウェブサイトでコンクールの周知を図った。	B:実現に向けて取り組んでいる	コンクールの参加者の増加に取り組む必要がある。	A:実現している	花いっぱい運動推進協議会と連携し取り組んだ。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種取り組みを通じて市民意識の高揚を図ることで緑化推進に成果をあげることができた。花いっぱいコンクールの参加者の増加に取り組む必要がある。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種取組により緑化推進に成果があったと認められるものである。引き続き、市民の意識を向上させることにより、花いっぱい運動の参加者及び地域の花壇数の増加等につながるよう努めるものとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

A C T (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への草花の植栽数 ・自治会等へ配付した市の花コスモスの種子の量 ・花いっぱいコンクールの実施回数 		<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱいコンクール参加者数 ・地域の花壇数 	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> ・茂原駅南口東口ロータリー花壇及び庁舎南側駐車場花壇等への植栽 ・公共施設等に草花を配付 ・自治会等に市の花コスモスの種子を配布 ・花いっぱいコンクールを年2回(春秋)開催 ・花いっぱい運動推進協議会の活動支援のため補助金の交付 		<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への草花の植栽(通年) ・自治会等に市の花コスモスの種子の配付 ・花いっぱいコンクールの実施(春秋) ・花いっぱい運動推進協議会の運営(通年) 		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	03	01	都市公園等維持補修事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	03	都市公園等維持補修事業

実施計画整理番号	
305030101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 公園内の遊具・施設について、子供たちが楽しく、安心して遊べるよう、適切な維持管理を行う	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 老朽化した遊具・施設を計画的に補修・更新していく。
令和元年度の具体的な目標 施設点検に努め、子どもたちが楽しく、安心して遊べるよう、適切な維持管理を行う ①各種公園の補修工事2件 ②各種公園の施設設置工事2件	令和元年度スケジュール ①各種公園の補修工事2件 ②各種公園の施設設置工事2件

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	2,571	2,853	2,798	4,276	9,763	9,583	10,308	9,836	9,632	3,206	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	1,728	1,652	5,292	5,292	5,022	0	0	0
	一般財源	千円	2,571	2,853	2,798	4,276	8,035	7,931	5,016	4,544	4,610	3,206	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	富士見公園の施設整備	5,292	5,022	5,022	野球場防護マットの設置を行う。引続き、運動公園として相応しい整備を進める。
②	各公園の老朽施設の補修	4,517	4,020	3,816	公園灯とフェンスの補修を行う。今後も、施設の安全性を高めるため予防保全に努める。
③	各公園の老朽遊具の更新	499	794	794	公園灯とフェンスの更新を行う。安全安心な公園のため計画的に施設更新を図る。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		10,308	9,836	9,632	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ①各種公園の補修工事4件(4公園)
- ②各種公園の施設設置工事3件(3公園)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	03	01	都市公園等維持補修事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	03	都市公園等維持補修事業

整理番号
305030101

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況												
①各種公園の補修工事4件(4公園) ②各種公園の施設設置工事3件(3公園)	公園の利用者数の増加 9,650人(茂原公園・富士見公園・萩原公園等)												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">妥当性の評価とその理由</th> <th colspan="2">有効性の評価とその理由</th> <th colspan="2">効率性の評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 16.6%;">A:妥当である</td> <td style="width: 33.3%;">公園の適正な維持管理をすすめるため、公共事業で施工管理する必要がある。</td> <td style="width: 16.6%;">A:有効である</td> <td style="width: 33.3%;">公園施設の安全は保たれ、事業成果は確実に得られている。</td> <td style="width: 16.6%;">A:効率的である</td> <td style="width: 33.3%;">日常の点検管理を行い、将来的なコスト増大にならないよう予防保全的な維持管理に努める。</td> </tr> </tbody> </table>		妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由		A:妥当である	公園の適正な維持管理をすすめるため、公共事業で施工管理する必要がある。	A:有効である	公園施設の安全は保たれ、事業成果は確実に得られている。	A:効率的である	日常の点検管理を行い、将来的なコスト増大にならないよう予防保全的な維持管理に努める。
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由									
A:妥当である	公園の適正な維持管理をすすめるため、公共事業で施工管理する必要がある。	A:有効である	公園施設の安全は保たれ、事業成果は確実に得られている。	A:効率的である	日常の点検管理を行い、将来的なコスト増大にならないよう予防保全的な維持管理に努める。								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th colspan="2">「参加」の状況とその理由</th> <th colspan="2">「協働」の状況とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 16.6%;">C:実現の余地がない</td> <td style="width: 33.3%;">施設の整備補修工事であり、取り組み余地がない。</td> <td style="width: 16.6%;">C:実現の余地がない</td> <td style="width: 33.3%;">施設の整備補修工事であり、取り組み余地がない。</td> <td style="width: 16.6%;">C:実現の余地がない</td> <td style="width: 33.3%;">施設の整備補修工事であり、取り組み余地がない。</td> </tr> </tbody> </table>		「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由		C:実現の余地がない	施設の整備補修工事であり、取り組み余地がない。	C:実現の余地がない	施設の整備補修工事であり、取り組み余地がない。	C:実現の余地がない	施設の整備補修工事であり、取り組み余地がない。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由									
C:実現の余地がない	施設の整備補修工事であり、取り組み余地がない。	C:実現の余地がない	施設の整備補修工事であり、取り組み余地がない。	C:実現の余地がない	施設の整備補修工事であり、取り組み余地がない。								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">所管による評価とその理由、課題・問題点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 16.6%;">A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</td> <td style="width: 83.4%;">安全性を求められる公園施設の補修について速やかに対応できた。利用者の安心安全な公園維持のため、計画的な維持管理が必要がある。</td> </tr> </tbody> </table>		所管による評価とその理由、課題・問題点		A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	安全性を求められる公園施設の補修について速やかに対応できた。利用者の安心安全な公園維持のため、計画的な維持管理が必要がある。								
所管による評価とその理由、課題・問題点													
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	安全性を求められる公園施設の補修について速やかに対応できた。利用者の安心安全な公園維持のため、計画的な維持管理が必要がある。												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">企画政策課での評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 16.6%;">A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</td> <td style="width: 83.4%;">各種取組により公園利用者の安全性が図られたと認めることができる。引き続き、適切な維持管理を実施することで、利用者の利便性向上に努めていただきたい。</td> </tr> </tbody> </table>		企画政策課での評価とその理由		A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種取組により公園利用者の安全性が図られたと認めることができる。引き続き、適切な維持管理を実施することで、利用者の利便性向上に努めていただきたい。								
企画政策課での評価とその理由													
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種取組により公園利用者の安全性が図られたと認めることができる。引き続き、適切な維持管理を実施することで、利用者の利便性向上に努めていただきたい。												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">政策調整会議での評価とその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 16.6%;"></td> <td style="width: 83.4%;"></td> </tr> </tbody> </table>		政策調整会議での評価とその理由											
政策調整会議での評価とその理由													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">庁議における方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 16.6%;"></td> <td style="width: 83.4%;"></td> </tr> </tbody> </table>		庁議における方針											
庁議における方針													

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
①各種公園の補修工事1件 ②各種公園の遊具設置工事1件	公園の利用者の増加数(茂原公園・富士見公園・萩原公園等)				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>令和2年度における具体的な目標</th> <th>令和2年度における事務事業スケジュール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 子どもたちが楽しく安心して遊べるように施設点検に努め、適切な維持管理を行う。 ①各種公園の補修工事1件 ②各種公園の遊具設置工事1件 </td> <td> 維持補修計画を立て、各事業を進める。 ①各種公園の補修工事1件 ②各種公園の遊具設置工事1件 </td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度における具体的な目標	令和2年度における事務事業スケジュール	子どもたちが楽しく安心して遊べるように施設点検に努め、適切な維持管理を行う。 ①各種公園の補修工事1件 ②各種公園の遊具設置工事1件	維持補修計画を立て、各事業を進める。 ①各種公園の補修工事1件 ②各種公園の遊具設置工事1件
令和2年度における具体的な目標	令和2年度における事務事業スケジュール				
子どもたちが楽しく安心して遊べるように施設点検に努め、適切な維持管理を行う。 ①各種公園の補修工事1件 ②各種公園の遊具設置工事1件	維持補修計画を立て、各事業を進める。 ①各種公園の補修工事1件 ②各種公園の遊具設置工事1件				

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	03	01	茂原公園再生事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	05	茂原公園再生事業

実施計画整理番号	
305030102	
総合戦略 整理番号	32103

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
茂原市の中心的都市公園である茂原公園を、利用者の増大につながる公園整備の推進と他部門部署と連携したイベントを開催する。また、さくらの点検及び外科治療を継続的に実施し、樹勢回復に努める。	公園内の施設やさくらの樹勢回復などの環境を整備し、ソフト面では、健康づくりのためのウォーキング、体験で学習する場の提供など関係団体と連携しつつ事業を推進する。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
サクラの点検及び外科治療を継続的に実施、樹勢の回復に努める。 茂原公園サクラの点検(全サクラ対象) 茂原公園サクラの外科治療(外科治療39本)	茂原公園内のサクラの外科治療の進捗を図る。 計画数353本 治療済み272本

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	3,484	3,484	3,484	1,720	1,729	1,729	12,856	12,755	10,532	8,990	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	5,000	5,000	3,942	3,565	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	4,500	4,500	3,500	3,200	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,484	3,484	3,484	1,720	1,729	1,729	3,356	3,255	3,090	2,225	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	多世代が行き交う公園の改修	10,206	10,105	7,884	弁天湖護岸工事を行うため測量試験を行う。交付金事業を活用し、早期完成を目指す。
②	茂原公園の桜の再生	2,650	2,650	2,648	樹木医の治療を受けるとともに、職員が適正な育成管理方法の指導を受けた。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		12,856	12,755	10,532	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

茂原公園サクラ育成管理等指導業務委託 (外科治療を行った桜について、市職員が適正な維持管理方法を習得するため樹木医から指導を得た)
 茂原公園サクラ外科治療業務委託 39本

PLAN(計画)

DO(実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	03	01	茂原公園再生事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	05	茂原公園再生事業

整理番号
305030102

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況 茂原公園サクラの点検(全サクラ対象) 茂原公園サクラの外科治療本数 外科治療39本		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況 ・茂原公園内のサクラの外科治療が進んだ。 治療実施率 88.1% (治療済み311本)	
妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由	
A:妥当である	茂原公園のサクラの再生は、観光地としての魅力向上や多世代が集う場として公園再生に結びつくものである。	A:有効である	サクラの外科治療により樹勢回復の成果が確実に得られ有効性がある。
		効率性の評価とその理由	
		B:やや効率的である	茂原公園再生にかかる経費削減は避けられないが、今後の経費増大にならないよう予防保全に努めた。
「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由	
その他	茂原公園再生計画における予定年度とは整合しておらず、情報の共有が難しい。	B:実現に向けて取り組んでいる	茂原公園再生計画に、市民参加型のソフト事業の取組が計画されている。
		「協働」の状況とその理由	
		B:実現に向けて取り組んでいる	茂原公園再生計画に、市民参加型のソフト事業の取組が計画されている。
CHECK (評価)			
所管による評価とその理由、課題・問題点			
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	日本さくらの名所100選として、さくらの魅力の再生や知名度の向上を図るため、さくらの点検調査や外科治療の成果は得られていると考える。しかし、茂原公園再生計画における観光地としての魅力向上や多世代の来園者の増大につなげるためには、ハード整備による環境を整えることが必要不可欠であると考えます。		
企画政策課での評価とその理由			
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	計画的に桜の点検・治療も実施していることから、成果が挙げられていると認められる。引き続き、桜の樹勢回復を図るとともに弁天湖護岸工事の早期完成を目指すことで、茂原公園の利用者増加に努めていただきたい。		
政策調整会議での評価とその理由			
庁議における方針			

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定 茂原公園サクラの点検・管理(全サクラ対象) 茂原公園サクラの外科治療本数 (外科治療43本) ※再治療1本含む 弁天湖護岸工事の進捗		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定 茂原公園内のサクラの樹勢回復。 茂原公園の利用者の増加数。 弁天湖護岸工事の進捗。	
A C T (改善)			
令和2年度における具体的な目標 職員による適正管理と樹木医による外科治療を実施し、樹勢の回復に努める。 ・茂原公園サクラの点検・管理の実施(全サクラ対象) ・茂原公園サクラの外科治療の完了(治療計画353本の終了) 茂原公園弁天湖護岸改修詳細設計		令和2年度における事務事業スケジュール 茂原公園サクラ育成管理等指導業務委託(毎月) 現場職員におけるサクラの育成管理 茂原公園サクラ外科治療業務委託(冬期) 茂原公園弁天湖護岸改修詳細設計業務委託	

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	01	市営住宅長寿命化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	05	市営住宅長寿命化事業

実施計画整理番号	
306010101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 老朽化した市営住宅ストックを活用していく中で、ライフサイクルコストの削減と事業量の平準化を図りながら、効率的かつ円滑な改善を行う。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 市営住宅長寿命化計画に基づき、ストック活用していく住宅に対し長寿命化型及び住居性確保型の改善を行う。 ・給水方式変更、給水設備改善 ・給湯設備改善 ・また、旧耐震基準で建設された市営住宅については、耐震診断を行う。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
旧耐震基準で建設された八幡原住宅1・2号棟の耐震診断を実施し、耐震性の有無を確認する。	八幡原住宅の耐震診断を実施し、耐震診断結果について、第三者判定機関で評定を行い、適合水準を確認する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	0	7,292	7,236	8,844	7,681	7,480	0	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	2,622	3,618	2,658	2,658	2,980	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	4,670	3,618	6,186	5,023	4,500	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	八幡原住宅1, 2号棟耐震診断業務委託	8,844	7,681	7,480	耐震診断を実施した結果、2棟ともに耐震性が確認された。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		8,844	7,681	7,480	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・八幡原住宅の耐震診断を実施し、診断の結果2棟ともに耐震性を有していると判定された。 ・上記の耐震診断の結果について、第三者判定機関により評定され、適合する水準であることを確認した。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	01	市営住宅長寿命化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	05	市営住宅長寿命化事業

整理番号
306010101

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	市営八幡原住宅の耐震診断の実施完了。		市営八幡原住宅において、耐震性を有していることが確認された。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	市営住宅長寿命化計画に基づき、耐震性について未判定の市営住宅に対し耐震診断を実施した。	A:有効である	耐震性を有していることが確認された。	A:効率的である	耐震性の確認により、今後の改善工事で、耐震化工事を要しないことが明確となった。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	その他	情報提供の必要性について検討する。	C:実現の余地がない	そぐわないと考える。	C:実現の余地がない	そぐわないと考える。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市営住宅長寿命化計画における改善工事に向け、八幡原住宅の耐震性の有無を確認することができた。このことにより、長寿命化の対象となる市営住宅全てにおいて、耐震診断により耐震性を有している、又は新耐震基準で建設されていることとなり、耐震化工事は不要となった。今後、実際に改善事業を実施していくにあたり、工事の手法や予算確保が課題である。				
企画政策課での評価とその理由						
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	計画どおり八幡原住宅の耐震診断を実施しており、成果を挙げていると認められる。引き続き、長寿命化計画に基づきライフサイクルコストの削減を図り、効率的な改善に努めていただきたい。					
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

A C T (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・長谷住宅2号棟改善工事の設計業務の実施 ・上茂原住宅ガス管入替修繕の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修着手棟数 	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> ・長谷住宅2号棟の設計業務及び入居者移転の実施完了。 ・上茂原住宅のガス管入替修繕を実施完了。 		<ul style="list-style-type: none"> (長谷住宅2号棟) ・設計業務の委託事務。 ・入居者との移転交渉及び移転補償契約の締結。 ・移転先市営住宅の修繕。 ・移転補償費の支払い。 (上茂原住宅) ・上茂原住宅のガス管入替修繕の実施。 		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	01	市営住宅集約化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	04	市営住宅集約化事業

実施計画整理番号	
306010102	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
<p>市営住宅11住宅、管理戸数759戸のうち、老朽化が激しく、入居率の低い市営吉井住宅、および、市営国府関住宅について、住宅の集約化を図る事により、維持管理費の経費削減を図る。</p>	<p>市営吉井住宅、および、市営国府関住宅の入居者に対して、将来的な市の住宅施策を説明し、個別に意向確認をしながら、他の市営住宅を含めた別の住宅に転居させる。 市営吉井住宅を解体し、用途廃止する。</p>
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
<p>・吉井住宅の解体工事、不動産鑑定、条例改正の完了。 ・国府関住宅の跡地利用について、関係部署との協議、方針を決定する。 ・入居者が居ない為、土地・建物の巡回等、適切な管理。</p>	<p>(吉井住宅) ・解体工事の実施、側溝管理用地の測量、分筆、境界杭の設置。 ・設置条例の改正及び不動産鑑定を実施し、用途廃止(移管)。 (国府関住宅) ・跡地利用について、利活用の調査担当課と協議を実施する。</p>

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	7,992	10,686	10,558	2,341	6,992	6,991	45,521	45,521	44,169	0	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	38,800	38,800	38,100	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	7,992	10,686	10,558	2,341	6,992	6,991	6,721	6,721	6,069	0	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	市営吉井住宅用途廃止に伴う解体工事	45,521	43,131	42,350	吉井住宅7棟の解体工事を実施した。
②	市営吉井住宅用途廃止に伴う用地測量業務委託	0	1,660	1,485	境界杭の設置及び側溝用地、駐車場用地の分筆、登記を実施した。
③	市営国府関住宅用途廃止に伴う用地測量業務委託	0	0	0	令和2年度に実施予定。
④	市営国府関住宅解体工事	0	0	0	企画政策課、財政課との協議により、令和2年度に一部実施予定。
⑤	不動産鑑定料	0	730	334	管財課への移管を踏まえ、不動産鑑定を実施した。
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		45,521	45,521	44,169	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

(吉井住宅)
 ・解体工事の実施。
 ・跡地の境界杭の設置及び側溝管理用地、駐車場用地の分筆・登記。
 ・跡地の不動産鑑定の実施。
 ・市営住宅設置条例から吉井住宅を削除。
 ・側溝管理用地を土木管理課へ、駐車場用地を子育て支援課へ、残りの土地を管財課へ移管。
 (国府関住宅)
 ・跡地利用について企画政策課によりサウンディング調査を実施。

PLAN
(計画)

DO
(実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	306010102
3	06	01	01	市営住宅集約化事業	7	04	01	04	市営住宅集約化事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況				令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> 吉井住宅の解体工事、不動産鑑定、条例改正の実施完了。 国府関住宅の跡地利用について、企画政策課と協議を行い、サウンディング調査を実施した。 				<ul style="list-style-type: none"> 吉井住宅は、必要な事務事業を実施し、跡地を担当課へ移管して用途廃止が完了した。 国府関住宅は、サウンディング調査を実施した結果、民間需要があることが分かったが、その手法について協議がまとまっていない。 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	総合計画及び公共施設等総合管理計画に合致する。	A:有効である	用途廃止すべき市営住宅において、必要な事務事業を実施できた。	A:効率的である	老朽化し利用率の低い施設を早急に用途廃止すれば、維持管理に費やす経費の削減に繋がる。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	その他	情報提供する必要性について検討する。	C:実現の余地がない	そぐわないと考える。	C:実現の余地がない	そぐわないと考える。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	吉井住宅の用途廃止を完了し、国府関住宅においてもコスト、十分な成果を挙げていると認められるが、国府関住宅においては、跡地利用についてどのような手筈で進めていくかが決定していないことが大きな課題である。						
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	吉井住宅の用途廃止を完了したことから、成果があったと認められるものである。引き続き、計画的な事業実施により維持管理費の経費削減に努めていただきたい。							
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定				令和2年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> 真名住宅2階建入居者の移転戸数 国府関住宅は、サウンディング調査の結果を踏まえ、売却に向けて測量や隣接民家への対応を行う。 				<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅数及び管理戸数 			
令和2年度における具体的な目標				令和2年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> 台風被害の大きい真名住宅2階建の入居者16戸の移転完了。 国府関住宅の測量業務の他、売却のために必要となる解体工事、分筆作業の実施。 				<ul style="list-style-type: none"> (真名住宅) 入居者との移転交渉及び移転補償契約の締結。 移転先市営住宅の修繕。 移転補償費の支払い。 (国府関住宅) 測量業務の実施。 関係課との協議、方針決定。 隣接民家、借地所有者へ市の方針の説明。 必要な解体工事、分筆作業の実施。 				

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	02	木造住宅耐震化促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	10	木造住宅耐震化促進事業

実施計画整理番号	
306010201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
<p>事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)</p> <p>耐震性の低い木造住宅の耐震性を向上し、住民の生命、財産の保護に寄与する。</p>	<p>活動内容(目的を達成するために何を行うか)</p> <p>耐震性の低い木造住宅の所有者等に対し耐震相談を行い、耐震診断、耐震改修にかかる費用の一部を補助する。</p>
<p>令和元年度の具体的な目標</p> <p>相談会：1回令和元年5月31日(金)、2回令和元年6月23日(日)、3回令和元年9月27日(金)以上3回開催(各回、耐震診断士2名を派遣)産業まつり：令和元年11月3日(日)耐震相談ブースを出店、相談会等の周知：広報誌への掲載、HPへの掲載、チラシの毎戸配布、耐震診断補助5件、耐震改修補助2件の交付</p>	<p>令和元年度スケジュール</p> <p>令和元年5月から12月までの期間、耐震診断費補助金、耐震改修費補助金の受付を行う。その期間中、全3回の無料耐震相談会を行い、相談会→補助金の申し込みを案内。耐震化率の向上につながる耐震改修工事を1件でも多くやっていただけるよう啓発を図る。</p>

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	4,333	4,333	2,104	4,333	4,527	1,657	2,663	2,663	1,946	2,625	0	0	
財源内訳	国補助	千円	1,966	1,966	857	1,966	2,063	688	1,231	1,231	872	1,212	0	0
	県補助	千円	733	733	350	733	781	291	390	390	356	381	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,634	1,634	897	1,634	1,683	678	1,042	1,042	718	1,032	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	無料耐震相談会の開催	363	363	325	災害により耐震相談会を4回実施、計13組受付。次年度も継続して行いたい。
②	耐震診断費の補助	600	600	600	耐震診断費の補助を上限の5件に交付。次年度も予算上限まで実施したい。
③	耐震改修費の補助	1,200	1,200	600	耐震改修費の補助を1件に交付。次年度は周知を工夫し予算上限まで実施したい。
④	危険ブロック塀等改善工事費の補助	500	500	421	危険ブロック塀等改善工事費の補助を上限の5件に交付。次年度も予算上限まで実施したい。
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		2,663	2,663	1,946	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

耐震相談会：耐震相談会を7回予定したが災害の関係で4回の実施となった。チラシのデザインを工夫しカラー化、産業まつり(中止)、広報・HPへの掲載、自治会回覧の併用による周知。回数が減った耐震相談開催委託料を流用し、在庫がなくなった地震防災マップの増刷を行った。

耐震診断費補助：予算件数5件に対し5件上限の交付。

耐震改修費補助：予算件数2件に対し1件の交付。

危険ブロック塀等改修補助金：予算件数5件に対し5件上限の交付。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	306010201
3	06	01	02	木造住宅耐震化促進事業	7	03	01	10	木造住宅耐震化促進事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況															
	耐震相談会を4回実施(年間相談件数13件) 耐震診断補助金利用者 5件 耐震改修補助金利用者 1件 危険ブロック塀等改修補助 5件					市内建築物耐震化率84.38%															
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由														
	A:妥当である			頻発する地震に対する耐震化率の向上を目指し、行政が市内建築物の耐震化を支援する必要がある。			A:有効である			耐震補助対象建築物の所有者が高齢化しており、高額な耐震改修費用の捻出を補助する制度は他にない。			A:効率的である			耐震相談→耐震診断→耐震改修という流れは効率的であり、耐震啓発という市民ニーズを満たしている。					
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由														
	A:実現している			広報誌、回覧、情報誌、ホームページによる周知を行い、市民の目につきやすいところで積極的な周知活動を展開。			A:実現している			窓口では、いつでも補助金の相談を受け付けており、相談会では参加者アンケートを実施。施策に意見を取り入れる機会を設けている。			C:実現の余地がない			個人情報を含んでおり、行政のみでしか実施できない。					
所管による評価とその理由、課題・問題点																					
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)											9月の台風による災害後、災害救助法に基づく応急修理などの住宅支援事業を審査指導係で担った結果、耐震相談会を年4回開催、相談は13組の受付となった。相談組数は平成30年度より15組の減少。耐震改修の入口となる耐震診断費補助金は、予算上限の5組に交付。耐震改修費補助金は、昨年と同様1組に交付した。危険ブロック塀等改修補助金は、実施初年度の交付対象件数上限の5件に交付した。										
企画政策課での評価とその理由																					
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)											災害等により計画どおりに取組の実施ができなかったが、新たに危険ブロック塀の工事費補助の取組も実施し、住民の生命、財産の保護に寄与したと認めることができる。引き続き、計画的な耐震相談会や補助金交付を実施し、市内建築物の耐震性の向上に努めていただきたい。										
政策調整会議での評価とその理由											(この欄は斜線が入っています)										
庁議における方針											(この欄は斜線が入っています)										

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震相談会を7回実施(年間相談組数上限28件) ・産業まつりブース出店 ・耐震診断補助金利用者 10件 ・耐震改修補助金利用者 5件 ・危険ブロック塀等改修補助金利用者10件 					市内建築物耐震化率84.80%(令和元年度耐震化率84.38%)				
令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
相談会: 1回令和2年8月23日(日)、2回令和2年9月25日(金)、3回令和2年10月27日(日)他3回開催(各回、耐震診断士2名を派遣) 産業まつり: 令和2年11月3日(火祝)耐震相談ブースを出店、相談会等の周知: 広報誌への掲載、HPへの掲載、チラシの毎戸配布、耐震診断補助10件、耐震改修補助5件、危険ブロック塀補助金の交付10件					令和元年5月から12月までの期間、耐震診断費補助金、耐震改修費補助金の受付を行う。その期間中、全6回の無料耐震相談会を行い、相談会→補助金の申し込みを案内。耐震化率の向上につながる耐震改修工事を1件でも多くやっていただけるよう啓発を図る。					

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	02	空家等対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	06	空家対策事業

実施計画整理番号	
306010202	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、空家等に関する必要な措置を適切に講ずるよう努めることにより、市民の生活環境の向上と安全安心な、まちづくりをする。	空家等対策協議会の設置 空家等対策計画の策定及びその推進 特定空家等への法的措置
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
空家等対策に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくために、茂原市空家等対策計画を策定する。また、適切な管理が行われていない空家等の所有者等に対し、情報提供や助言、法令に基づく措置を強化する。	茂原市空家対策協議会の開催(6月、8月、10月、12月、3月) 茂原市空家対策計画の策定(素案作成→パブコメ→策定) 空家相談対応随時 特定空家等の認定随時

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	0	0	0	373	2,505	2,365	228	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	373	2,505	2,365	228	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原市空家等対策協議会委員報酬	324	273	166	5回協議会を開催し、各委員からの意見を頂いた。専門家や市民の意見を頂くためにも今後も継続する。
②	緊急安全措置費用	49	33	0	原則空家所有者に対応してもらうことで、緊急安全措置費用は使用しなかった。所有者が発見できない場合、必要であるため、今後も継続する。
③	空家等対策計画策定業務委託	0	0	0	職員により策定したため、取組終了。
④	空家所有者への助言・指導	16	16	16	増加し続ける空家の所有者に対し、適正な助言・指導した。今後も継続する。
⑤	空家等対策計画印刷製本等費用	0	175	175	空家等対策計画の策定に至ったため、取組終了。
⑥	相続財産管理人選任申立等費用	0	2,008	2,008	所有者不在の空家に対し、相続財産管理人を2件申し立てた。今後も継続する。
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		389	2,505	2,365	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

茂原市空家対策協議会の開催5回
 茂原市空家対策計画の策定
 空家相談対応168件
 特定空家等の認定3件

PLAN(計画)

DO(実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	02	空き家等対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	06	空家対策事業

整理番号
306010202

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況 相談件数168件	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況 改善された113件数	
妥当性の評価とその理由 有効性の評価とその理由 効率性の評価とその理由		
A:妥当である H27年施行の空き家等対策の推進に関する特別措置法により、市が関与する事業である。	B:やや有効である 空き家所有者に対し、指導・助言等を行い、意図した成果は概ね得られている。	D:効率的ではない 空き家は増加傾向にあるため、コストの増大が見込まれる。
「情報の共有」の状況とその理由 「参加」の状況とその理由 「協働」の状況とその理由		
A:実現している 空家等対策協議会を設置し、関係団体、自治会と情報共有している。また、会議内容をWebページで公開している。	A:実現している 空家に対する意見、相談を受け付けている。	A:実現している 地域によっては、自治会と協働し、空家対策に向けて取り組んでいる。
所管による評価とその理由、課題・問題点		
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	空き家に対する苦情・相談は増加傾向にある。その都度、土地家屋所有者に対し、文書等で改善を促しているが、所有者が所在不明であったり、無反応の場合など改善に時間と多額の費用を要する。	
企画政策課での評価とその理由		
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	本事業は、市民の生活環境の向上と安全安心なまちづくりに寄与する事業と認められる。引き続き、関係機関との連携を図り、適切な管理がされていない空き家の把握し助言・指導を行うとともに、改善が見られない空き家に対して法令に基づく措置の強化等の対応について検討していくものとする。	
政策調整会議での評価とその理由		
(This section is currently blank in the image)		
庁議における方針		
(This section is currently blank in the image)		

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定 ・空家対策協議会3回開催 ・空家相談件数 ・特定空家等認定件数 ・情報提供・助言件数	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定 改善件数
令和2年度における具体的な目標 令和2年度における事務事業スケジュール	
防災、衛生、景観等、市民の生活環境の保全を図るため、関係各課との連携及び空き家所有者への指導を強化するとともに、空き家の利活用の促進、助成制度の創設により、適切な管理が行われていない空き家の増加を防ぐ。	実施計画の策定 リフォーム補助の創設 GISによる空家台帳の整備 空家対策協議会の開催

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	03	三世帯同居等支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	03	安全安心な住宅の促進(三世帯同居等支援事業)

実施計画整理番号	
306010301	
総合戦略整理番号	31101

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
<p>親世帯または子世帯の一方が転入し、三世帯(親・子・孫)で同居・近居をする世帯に住宅取得等の費用の一部を補助することにより、生活基盤の安定による移住・定住を促進する。また、助成の上乗せ支援による地元企業の利用促進も図る。</p>	<p>住宅取得等の費用の1/2を助成する。 ただし、助成額の上限は次のとおり。 新築・購入は上限80万円(市内業者が行う場合は上限100万円) 増築は上限30万円(市内業者が行う場合は上限50万円)</p>
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
<p>移住・定住促進により若年層の転出抑制及び転入促進を図り、更なる人口増加を目指す。</p>	<p>申請期間:平成31年4月2日～令和2年2月末 周知方法:広報紙、茂原市Webサイト、東日本旅客鉄道の電車内への広告掲載、自治会回覧、関係団体・住宅展示場への広告配布 等</p>

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	10,000	10,000	5,800	10,000	5,200	3,200	7,000	7,000	3,700	7,000	0	0	
財源内訳	国補助	千円	5,000	5,000	2,396	5,000	1,125	1,440	3,150	3,150	1,665	3,150	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,000	5,000	3,404	5,000	4,075	1,760	3,850	3,850	2,035	3,850	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	住宅取得等の費用補助	7,000	7,000	3,700	内訳は、新築4件、増築1件の計5件(市外からの転入者は15人)、事業を継続するか検討する必要がある。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		7,000	7,000	3,700	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
<p>申請者がフラット35と併用することでの金利優遇措置を行った。(5件中2件) 新築4件、購入0件、増築1件の計5件に対し総額370万円の補助金を交付した。 国からの交付金は1,665千円であった。</p>

PLAN(計画)

DO(実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	306010301
3	06	01	03	三世代同居等支援事業	7	04	01	03	安全安心な住宅の促進(三世代同居等支援事業)	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況						
	支援件数: 5件(内訳: 新築4件、増築1件、購入0件)					本事業による市外からの転入者は合計15人						
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由					
	A: 妥当である	移住・定住を促進することで、安定的な税収の確保と地域活性の一助となっている。			A: 有効である	補助金の存在により、茂原市で住宅取得するきっかけになる。			C: あまり効率的ではない	新築は、契約から工事完了まで期間を要するため、年度当初から11月程度まで申請期間が限定されてしまう。		
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由					
	A: 実現している	広報誌、本市Webサイト、自治会回覧、関係団体・住宅展示場への広告の配布を行っている。また、協定を結んでいる住宅金融支援機構による広報活動もある。			C: 実現の余地がない	行政のみでしか実施できない。			C: 実現の余地がない	行政のみでしか実施できない。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点											
	B: ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	当初予算に対し事業執行率は、52.90%であり、移住者も15人に留まっている。(総合戦略では、年間目標100人)新築の場合、当該補助申請から契約を経て、年度内に工事完了することが条件のため、申請期間が限定される。このため、年度前半で移住を考えている人は、補助が受けられない。このことが、執行率の低さに起因している。また、その国費も年度当初は要望額の1/4しか配分されていない。										
	企画政策課での評価とその理由											
	B: ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	移住・定住促進に一定の成果があったものと認められる。より一層、効果的な周知を図ることで支援件数及び移住・定住人口の増加に努めていただきたい。										
政策調整会議での評価とその理由												
庁議における方針												

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
	支援件数: 7件					市外からの転入者数: 21人				
令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
移住・定住促進により若年層の転入促進を図り、人口増加を目指す。					申請期間令和2年4月1日~令和3年2月末 周知方法: 広報紙、市WEBサイト、東日本旅客鉄道の電車内への広告掲載、自治会回覧、関係団体、住宅展示場への広告配布等					

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	02	01	ごみ排出適正化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	02	ごみ排出適正化事業

実施計画整理番号	
307020101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
不法投棄を未然に防止するとともに不法投棄されたごみについては適正に処理することを目標とする。	・職員及び不法投棄監視委員による随時パトロール ・ごみ集積所表示看板及び不法投棄防止警告看板の配布 ・千葉県環境衛生促進協議会への参加
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
・ゴミ収集カレンダーを各世帯に配布し、排出方法の徹底に努める。 ・「ゴミ集積所表示看板」、「不法投棄防止警告看板」等を配布する。 ・千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。 ・不法投棄監視員(20名)によるパトロールの実施。	・「ゴミと資源の分け方・出し方」の収集カレンダーの配付(3月)。 ・「ゴミ集積所表示看板」、「不法投棄防止警告看板」等の配付(通年)。 ・千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。 ・不法投棄監視員(20名)による市内パトロール(通年)。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	2,039	2,039	1,832	2,142	2,151	2,072	2,167	2,193	1,894	2,259	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	444	444	444	444	444	444	444	444	444	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	7	7	7	7	7	0	8	8	0	0	0
	一般財源	千円	1,588	1,588	1,381	1,691	1,700	1,628	1,715	1,741	1,450	1,815	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	ごみ集積所表示看板及び不法投棄防止警告看板の配布	191	191	155	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	千葉県環境衛生促進協議会への参加	50	50	50	概ね達成できた。引き続き実施する。
③	不法投棄物の回収及び処理	1,033	1,059	796	概ね達成できた。引き続き実施する。
④	不法投棄監視員の配置	893	893	893	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		2,167	2,193	1,894	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・「ゴミと資源の分け方・出し方」の収集カレンダーを各世帯に配布しごみの排出方法の徹底に努めた。
- ・自治会等に「ごみ集積所表示看板」「不法投棄防止警告看板」等を配布した。
- ・千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。
- ・不法投棄監視員(20名)による市内パトロールの実施

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	02	01	ごみ排出適正化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	02	ごみ排出適正化事業

整理番号
307020101

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況 ・不法投棄監視員によるパトロールの実施回数 1,063回 ・不法投棄防止警告看板の配付数 40枚	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況 不法投棄監視員からの報告件数 62件
--	--

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	ごみの排出方法の周知徹底を図るとともに不法投棄の未然防止に努めた。	A:有効である	不法投棄された家電等は迅速に回収し適正に処理した。	A:効率的である	不法投棄監視員のパトロールの実施により早期発見早期対応未然防止に繋がっている。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	不法投棄監視員と毎月の報告書の提出により情報共有している。	A:実現している	市民である不法投棄監視員と連携し取り組んだ。	A:実現している	市民である不法投棄監視員と連携し取り組んだ。

所管による評価とその理由、課題・問題点 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	家電等の小規模な不法投棄は依然として散見されるものの大規模な不法投棄は発生していないことから一定の成果をあげているものと考えている。
---	--

企画政策課での評価とその理由 A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	不法投棄監視員からの報告件数の減少は、本事業の成果によるものと認めることができる。引き続き、関係機関との連携を図ることによって不法投棄の未然防止に努めるとともに、市民へ適切なごみ排出方法の徹底を図るものとする。
--	---

政策調整会議での評価とその理由	(This area is currently blank in the provided image)
-----------------	--

庁議における方針	(This area is currently blank in the provided image)
----------	--

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定 ・不法投棄監視員によるパトロールの実施回数 ・不法投棄防止警告看板の配布数	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定 ・不法投棄監視員からの不法投棄報告件数
---	---

令和2年度における具体的な目標 ・ごみ収集カレンダーを各世帯に配布し排出方法の徹底に努める。 ・「ごみ集積所表示看板」「不法投棄防止警告看板」等を配布する。 ・千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。 ・不法投棄監視員(20名)によるパトロールの実施。	令和2年度における事務事業スケジュール ・「ゴミと資源の出し分け方」の収集カレンダーの配付(3月) ・「ゴミ集積所表示看板」「不法投棄防止警告看板」等の配付(通年) ・千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加 ・不法投棄監視員(20名)による市内パトロール(通年)
--	---

CHECK(評価)

ACT(改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	02	02	3R推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	03	3R推進事業

実施計画整理番号	
307020201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要		
PLAN (計画)	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 3Rの推進により循環型社会の形成を目標とする。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) ・リサイクル推進委員会への活動支援 ・市民団体へのリサイクル報償金の交付によるリサイクルの推進 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売 ・生ごみ処理機の購入費の補助
	令和元年度の具体的な目標 ・直営による公共施設等の資源ごみの回収 ・自治会等の資源ごみ回収量に応じた報償金の交付 ・リサイクル推進委員会に助成販売と生ごみ処理機購入費補助制度を実施し生ごみの減量化に努める。	令和元年度スケジュール ・公共施設等の資源ごみの回収(通年) ・リサイクル報償金の交付(9月、3月) ・リサイクル推進委員会の運営 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売と生ごみ処理機購入費補助金の交付(通年)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	6,909	6,909	5,974	7,082	6,332	5,445	5,922	5,896	5,178	5,933	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	353	353	288	353	283	223	283	283	178	283	0	0
	一般財源	千円	6,556	6,556	5,686	6,729	6,049	5,222	5,639	5,613	5,000	5,650	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	資源ゴミの回収	1,074	1,048	815	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	資源ゴミ回収報償金の交付	3,036	3,036	2,668	概ね達成できた。引き続き実施する。
③	リサイクル推進委員会の活動支援	1,116	1,116	1,116	概ね達成できた。引き続き実施する。
④	生ごみ堆肥化容器の助成販売	426	426	423	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑤	生ごみ処理機の購入費助成	270	270	156	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		5,922	5,896	5,178	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
・直営による公共施設等の資源ごみ回収を行った。(通年) ・自治会等の資源ごみ回収量に応じて報償金を交付した。(9月、3月) ・リサイクル推進委員会の活動を支援した。 ・生ごみ堆肥化容器助成販売と生ごみ処理機購入費補助制度を実施することで生ごみの減量化に努めた。(通年)	

DO (実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	307020201
3	07	02	02	3R推進事業	4	02	01	03	3R推進事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況				令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル報奨金の交付件数(255件) ・リサイクル推進委員会への助成(1,116千円) 				<ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみの回収量(3,311t)前年比△175t ・生ごみ堆肥化容器の助成販売数(58基)前年比△17基 ・生ごみ処理機購入費補助件数(10基)前年比+1基 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	市民団体等の理解と協力のもとリサイクルの推進が図られた。	B:やや有効である	スーパー等による民間のリサイクル回収ルートが普及したことなどにより収集量が減少傾向にある。	A:効率的である	生ごみの減量化には生ごみ処理機や堆肥化容器の活用が有効な手段である。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる	広報紙や市ウェブサイト等で生ごみ処理機や堆肥化容器の周知を図っているが今後更なる普及啓発が必要である。	A:実現している	リサイクル推進委員会と連携しながら取り組んだ。	A:実現している	リサイクル推進委員会と連携しながら取り組んだ。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	循環型社会の形成を目指して「3R」の推進に努めるとともにリサイクル推進委員会との連携を通じて地域のリサイクル向上に努めた。						
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種取組により循環型社会形成に一定の成果が認められる。今後も関係団体との連携を図りながら事業の推進を図るとともに、より一層の周知に努めることとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定				令和2年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル報償金の交付件数 ・リサイクル推進委員会への助成 ・制度の周知件数 				<ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみ回収量 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売数 ・生ごみ処理機購入費補助件数 			
令和2年度における具体的な目標				令和2年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等の資源ごみの回収(通年) ・リサイクル報償金の交付(9月、3月) ・リサイクル推進委員会の運営 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売と生ごみ処理機購入費補助金の交付(通年) 				<ul style="list-style-type: none"> ・直営による公共施設等の資源ごみの回収 ・自治会等の資源ごみ回収量に応じた報償金の交付 ・リサイクル推進委員会への助成 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売と生ごみ処理機購入費補助を実施し生ごみの減量化に努める。 				

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	04	01	美化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	06	01	美化推進事業

実施計画整理番号	
307040101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
きれいで住みよい環境づくりを進めるため、啓発活動を通して、市民の協力のもと美化活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化活動の推進 空き地に係る雑草等の除去に関する条例に基づく指導 自治会への草刈機の貸出 ポイ捨て防止条例に基づく啓発 広報紙、パンフレット等による啓発活動 ゴミゼロ運動の実施
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化活動に対しゴミ袋の提供や回数うを行う。 空き地に係る雑草等の除去に関する指導を行う。 自治会への草刈機の適切な貸し出し。 ゴミゼロ運動実施(5月27日) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化活動の推進(通年) 空き地に係る雑草等の除去に関する指導(通年) 自治会等への草刈機の貸し出し(通年) ポイ捨て防止の啓発(広報5月号、桜まつり、七夕まつり) ゴミゼロ運動(5月)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	893	893	884	893	990	981	1,017	1,017	966	1,021	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	893	893	884	893	990	981	1,017	1,017	966	1,021	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	地域の環境美化活動の推進	152	152	149	概ね達成できた。引き続き推進を図る。
②	空き地に係る雑草等の除去に関する指導	9	9	4	概ね達成できた。引き続き指導を行う。
③	自治会への草刈機の貸出	162	162	130	概ね達成できた。引き続き貸出しを行う。
④	ポイ捨て防止の啓発	67	67	72	概ね達成できた。引き続き啓発を行う。
⑤	ゴミゼロ運動の実施	627	627	610	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		1,017	1,017	965	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- 地域の環境美化を推進するため自治会等の地域清掃に対しゴミ袋の配付や回収を行った。
- 空き地に係る雑草等の除去に関する指導を行った。(指導件数292件)
- 地域の環境美化を推進するため自治会等に草刈機の貸し出しを行った。(延べ139件)
- ポイ捨て防止条例に基づく啓発として桜まつりや七夕まつり会場内において啓発物品の配付を行った。
- 5月26日にゴミゼロ運動を実施した。(参加者数12,581名、回収量16.44t)

PLAN (計画)

DO (実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	307040101
3	07	04	01	美化推進事業	4	01	06	01	美化推進事業	

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・啓発回数 街頭啓発2回 ・ゴミゼロ運動の開催回数 1回 ・草刈機貸出回数 139回 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数(ゴミゼロ運動市内全域12,581名)前年比+236名 ・ごみ回収量(ゴミゼロ運動16.44t)前年比△0.6t ・地域清掃等の実施数(137回)

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	市民の協力のもと美化活動の推進に努めた。	A:有効である	ゴミゼロ運動や自主的な清掃活動の奨励を図り地域ぐるみの美化活動を推進した。	B:やや効率的である	ポイ捨て防止は行為者の意識改革が必要であり根気強く取り組む必要がある。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	ゴミゼロ運動では自治会等各種団体や参加企業と情報を共有している。	A:実現している	ゴミゼロ運動には市内全域で12,581名の参加があった。	A:実現している	地域清掃時にごみ袋の提供及び回収を行い市民との協働による環境美化を図った。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市民との協働による美化活動の推進という観点からは一定の成果を挙げたと考えている。ポイ捨て防止及び空き地の雑草除去については引き続き啓発に努める。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種取組の実施により美化活動の推進が図られたと認めることができる。引き続き、啓発活動を実施することで市民の意識向上を図り、ひいては住みよい環境づくりの推進につなげるよう努めていただきたい。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定
<ul style="list-style-type: none"> ・啓発回数 ・ゴミゼロ運動の開催回数 ・草刈機貸出回数 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 ・地域清掃等の実施数 ・ごみ回収量

令和2年度における具体的な目標	令和2年度における事務事業スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境美化活動の推進(通年) ・空き地に係る雑草等の除去に関する指導(通年) ・自治会等への草刈機の貸し出し(通年) ・ポイ捨て防止の啓発(広報5月号、桜まつり、七夕まつり) ・ゴミゼロ運動(5月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境美化活動に対しごみ袋の提供や回収を行う。 ・空き地に係る雑草等の除去に関する指導を行う。 ・自治会への草刈機の適切な貸し出し。 ・ゴミゼロ運動実施(5月31日)

CHECK(評価)

ACT(改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	04	01	害虫防除対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	05	02	害虫防除対策事業

実施計画整理番号	
307040102	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 自転車歩行者道路(豊田川、一宮川)沿いの桜の木の害虫駆除、自治会等への消毒機の貸出や衛生指導を行い、適正な環境づくりを目標とする。	活動内容(目的を達成するために何をを行うか) ・自転車歩行者道路(豊田川、一宮川)沿いの桜の木の害虫駆除 ・自治会等への消毒機の貸出 ・公共施設の蜂の巣駆除
令和元年度の具体的な目標 ・豊田川、一宮川沿いの自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除を年2回実施する。 ・自治会等へ消毒機の貸し出しを行う。 ・公共施設の蜂の巣の駆除を実施する。	令和元年度スケジュール ・自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除(5月、9月) ・自治会等への消毒機の貸し出し(通年) ・公共施設の蜂の巣の駆除(通年)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	722	722	707	722	722	699	764	764	713	778	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	722	722	707	722	722	699	764	764	713	778	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	自転車歩行者道路(豊田川・一宮川)沿いの桜の木の害虫駆除	692	692	691	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	自治会等への消毒機の貸出	52	52	22	概ね達成できた。引き続き貸出しを行う。
③	公共施設の蜂の巣駆除	20	20	0	対象となる案件が無かった。引き続き実施する。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		764	764	713	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・豊田川、一宮川沿いの自転車歩行者道路脇の桜の害虫防除を年2回(5月、9月)実施した。
- ・自治会等への消毒機の貸し出しを行った(通年)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	04	01	害虫防除対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	05	02	害虫防除対策事業

整理番号
307040102

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・害虫の駆除回数(2回) ・消毒機の貸し出し数(延べ41台、6団体) 	害虫駆除実施箇所数(酒盛橋から日進橋区間及び大芝地先)

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	豊田川、一宮川沿いの桜の木は観光資源として引き続き市が管理していく必要がある。	A:有効である	害虫の発生を抑制し生活環境の保全を図る。	A:効率的である	害虫駆除は業務委託により効率的に行われている。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	桜の木の害虫駆除については自治会回覧により周辺住民への周知を図った。	C:実現の余地がない	桜の害虫駆除は特殊作業のため業者委託しており市民参加の機会は提供していない。	A:実現している	自治会等に消毒機の貸し出しを行うことにより協働による生活環境の保全に努めた。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	害虫の発生を抑制し十分な成果をあげることができた。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	個別取組は害虫駆除に資するものであり、適正な環境づくりに成果があったと認められる。引き続き、効率的な害虫駆除及び自治会等との連携による事業実施に努めていただきたい。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定
<ul style="list-style-type: none"> ・害虫の駆除回数 ・消毒機の貸し出し数 	・実施箇所数

令和2年度における具体的な目標	令和2年度における事務事業スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除(5月、9月) ・自治会等への消毒機の貸し出し(通年) ・公共施設の蜂の巣の駆除(通年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田川、一宮川沿いの自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除を年2回実施する。 ・自治会等へ消毒機の貸し出しを行う。 ・公共施設の蜂の巣の駆除を実施する。

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	05	01	環境保全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	01	環境保全対策事業

実施計画整理番号	
307050101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 水質汚濁、土壌汚染などの公害防止と発生時の迅速な対処ができるよう、監視機器の整備を図って調査を実施し、また事業者の自主監視を推進するなど監視体制の充実に努めるとともに、自動車交通騒音の常時監視を行うことにより地域の騒音曝露状況を把握する。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 公共用水域、地下水の水質保全及び土壌汚染防止のため、検査、監視する。騒音規制法第18条第1項に基づき、茂原市内における主要幹線道路を対象とし、自動車騒音状況の常時監視を実施する。
令和元年度の具体的な目標 水質検査・土壌検査、自動車騒音の常時監視を実施する。	令和元年度スケジュール 河川水質検査 7・10・1月 地下水水質検査 11月 工場排水水質検査 1月 道路交通騒音常時監視 10月

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	1,066	1,011	819	1,066	1,118	913	1,026	1,026	961	1,026	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,066	1,011	819	1,066	1,118	913	1,026	1,026	961	1,026	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	水質・土壌検査の実施	623	623	558	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	道路騒音常時監視測定の実施	403	403	403	概ね達成できた。引き続き実施する。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		1,026	1,026	961	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

・河川水・地下水・工場排水及び土壌分析委託 557,650円
 河川水18ヶ所(年1~3回):3ヶ所でBOD環境基準を充たしていた。
 地下水21ヶ所、工場排水4ヶ所:環境基準、排水基準を充たしていた。
 ・道路交通騒音常時監視測定委託 402,600円 茂原停車場線 区間番号41160(千代田町2丁目)・茂原長生線 区間番号42580(高師台1丁目)
 評価区間全体、非近接空間及び近接空間で昼間・夜間ともに環境基準以下。(基準値)昼間70dB 夜間65dB
 (測定値)区間番号41160(千代田町2丁目)昼間62dB 夜間55dB/区間番号42580(高師台1丁目)昼間65dB 夜間61dB

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	307050101
3	07	05	01	環境保全対策事業	4	01	07	01	環境保全対策事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	河川水・地下水・工場排水及び土壌分析委託 河川水18ヶ所(年1~3回)、地下水21ヶ所、工場排水4ヶ所 道路交通騒音常時監視測定委託 茂原停車場線 区間番号41160(千代田町2丁目) 区間番号42580(高師台1丁目)					河川水は3ヶ所でBOD環境基準を充たしていた。 地下水、工場排水は基準を充たしていた。 交通騒音は2地点の評価区間全体、非近接空間及び近接空間で昼間・夜間ともに環境基準以下であった。				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である 公共用水域、地下水の水質保全及び土壌汚染防止のため検査監視をした。主要幹線道路を対象とし、自動車騒音状況の常時監視を実施した。		A:有効である 河川水水質検査、地下水汚染の継続監視及び自動車騒音の常時監視により現状把握及び公害の未然防止に努めた。			A:効率的である 河川水・地下水・工場排水及び土壌分析委託、道路交通騒音常時監視測定委託により効率的に行った。				
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している 河川水水質結果については、広報及びホームページにて周知。道路交通騒音監視結果はホームページにて周知。		C:実現の余地がない 市民等の参加事業ではない。			C:実現の余地がない 市民等の協働事業ではない。				
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		いずれの取組も結果を広報等で周知しており、公害の発生防止と市民の環境保全意識の向上に一定の成果を挙げている。							
	企画政策課での評価とその理由									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		予定どおりの検査・測定を実施しており、一定の成果があったと認められる。引き続き、取組を実施することにより、公害の未然防止を図るとともに、結果を公表することで市民の環境意識向上に努めていただきたい。							
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
	調査の実施回数等					調査の実施結果				
令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
水質検査・土壌検査、自動車騒音の常時監視を実施する。					河川水水質検査 7・10・1月 地下水水質検査 11月 工場排水水質検査 1月 道路交通騒音常時監視 10月					

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	01	自主防災組織支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	02	自主防災組織支援事業

実施計画整理番号	
308020101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 自主防災組織に支援を行い、地域防災力の向上を図る。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 新設自主防災会設立前には説明会を実施し、設立時には資機材を貸与する。既存自主防災会には、追加資機材の補助を行う。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
・自主防災組織5団体の新規設立 ・活動を行っていない自主防災組織の活性化 ・研修会開催による地域のリーダー育成 ・自主防災組織連絡会議開催による情報交換	・自治会長連合会総会において、自主防災組織設立案内チラシを配布(5月) ・既存自主防災組織の資機材整備に対する補助事業(8月～) ・リーダー研修会の開催(1月) ・自主防災組織連絡会議の開催(3月) ・新設した自主防災組織に資機材、戸別受信機を貸与(随時) ・出前講座の実施(随時)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	5,694	5,694	3,637	5,694	4,433	3,236	3,738	3,738	1,873	817	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	1,417	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	2,650	2,650	1,610	2,650	1,987	0	1,757	1,757	825	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	394	394	394	394	456	400	219	219	219	134	0
	一般財源	千円	2,650	2,650	1,633	2,650	1,990	1,419	1,762	1,762	829	683	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	自治会への設立説明	0	0	0	自治会長連合会の総会時や出前講座等において自主防災組織の啓発を行った。引き続き周知を図っていく。
②	防災資機材及び個別受信機の購入	1,358	1,358	451	新たに設立した1団体に対して、自主防災組織に必要な資機材を貸与した。また、個別受信機を5台購入し、新設団体に貸与した。その他については、故障した場合等に備え保管する。
③	追加資機材購入への補助金	1,980	1,980	1,037	10団体に資機材整備のための補助金を交付し、3団体に防災備蓄倉庫の補助金を交付した。引き続き補助金を交付する。
④	リーダー育成研修会	400	400	385	自主防災組織のリーダー育成のための研修会を実施し、27名が受講した。引き続き地域防災力の向上を図るため、研修を実施する。
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		3,738	3,738	1,873	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

自治会長連合会総会や出前講座の際に、自主防災組織設立及び防災対策に関する啓発を行った。
 新設した自主防災組織に資機材及び戸別受信機を貸与した。また、資機材の保管のための備蓄倉庫設置に対して補助金を交付した。
 自主防災組織のリーダー育成のための研修会を開催した。
 既存の自主防災組織の資機材整備に対する補助金の交付を行った。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	308020101
3	08	02	01	自主防災組織支援事業	2	01	14	02	自主防災組織支援事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	新規の自主防災組織が1団体設立され、防災資機材、戸別受信機を貸与した。また、9団体に対して出前講座を実施し、自主防災組織の啓発を行った。					自主防災組織のカバー率は、61.95%(令和2年4月1日現在)となり、昨年度比+0.92%となった。				
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由			
	A:妥当である		自主防災組織の設立及び活動の活性化は、地域防災力の向上に大きく寄与する。	A:有効である		新規自主防災組織の設立の際に、資機材及び戸別受信機の貸与を行うことで、活動を支援する。	B:やや効率的である		地域防災力の向上のため、活動における資機材の貸与及び資機材購入の補助を県の補助金を活用している。	
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由			
	A:実現している		自治会長連合会総会時やウェブサイトにて情報発信を行っている。	A:実現している		自主防災組織は、市民自ら考え設立するものである。	A:実現している		新規自主防災組織の設立や活動に際し、資機材の貸与や購入の補助を行っている。また、随時、設立のための相談を受けている。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		新規に1団体の自主防災組織が設立された。また、既存自主防災組織の資機材整備に対する補助金を10団体が活用し、資機材の整備を行い、資機材の保管場所の備蓄倉庫設置への補助金を3団体が活用したことにより、地域防災力の向上が図られた。一方、課題として、自主防災組織の設立や活動については、各自治会等の意欲によるところが大きいいため、組織の活性化を図る方策を検討するものとする。							
企画政策課での評価とその理由										
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		自助・共助の重要性が高まる中、自主防災組織の設立及び活動への支援は、地域防災力の向上に成果を挙げていると認めることができる。引き続き、組織の設立、活性化に資する支援を実施するとともに情報発信の強化等により、市民等の意欲向上に努めるものとする。								
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
	資機材・戸別受信機の貸与数 職員の出前講座の実施回数					自主防災組織カバー率				
令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
新規自主防災組織を3団体設立 研修会開催による地域のリーダー育成 自主防災組織連絡会議開催による情報交換					自治会長連合会総会において、自主防災組織設立案内チラシを配布 既存自主防災組織の資機材整備に対する補助事業(9月~) リーダー育成研修会の開催(1月) 自主防災組織連絡会議の開催(3月) 設立した自主防災組織に資機材、戸別受信機を貸与(随時) 出前講座の実施(随時)					

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	01	地域支え合い体制づくり事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	01	07	地域支え合い体制づくり事業

実施計画整理番号	
308020102	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
茂原市避難行動要支援者避難支援プラン【全体計画】に基づき、避難行動要支援者の避難支援、安否確認等を実施するための基礎となる避難行動要支援者名簿を作成する。また、避難支援の実施に必要な限度で名簿を避難支援等関係者に提供する。避難支援を必要とする者の個別計画を作成する。	避難行動要支援者名簿を作成するために関係機関から情報収集を行う。適切な情報管理に努める。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を作成し、定期的に更新する。避難行動要支援者名簿を避難支援等関係者に適切に提供する。避難支援登録制度を活用して避難支援を必要とする者の個別計画を作成する。	避難行動要支援者名簿の定期的(年6回:5月、7月、9月、11月、1月、3月)な更新を行う。 避難支援登録制度を活用して個別計画を随時作成する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	195	195	194	195	195	194	197	197	196	198	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	195	195	194	195	195	194	197	197	196	198	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	避難行動要支援者の情報管理	197	197	196	避難行動要支援者名簿の更新を実施できた。今後も継続して実施する必要がある。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		197	197	196	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
避難行動要支援者名簿の定期的(年6回:5月、7月、9月、11月、1月、3月)な更新を行った。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	308020102
3	08	02	01	地域支え合い体制づくり事業	3	01	01	07	地域支え合い体制づくり事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	避難行動要支援者名簿の定期的(年6回:5月、7月、9月、11月、1月、3月)な更新を行った。					要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を作成し、災害に備えた。避難支援等関係者に対して名簿を適切に提供した。				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である	自治体が関与すべき事業であり、総合計画における目標に合致する。		A:有効である	要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を作成するものである。また、類似の目的を持つ事業はない。		C:あまり効率的ではない	住民基本台帳の情報及び関係各課の保有している情報を活用することは効率的であるが、管理システムが旧式のため効率性が低くなっている。		
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	避難行動要支援者名簿を避難支援等関係者に提供することで情報の共有ができる。個別計画についても同様である。		B:実現に向けて取り組んでいる	災害時の地域の支え合いは、避難支援等関係者との調整が必要である。		B:実現に向けて取り組んでいる	災害時の地域の支え合いは、避難支援等関係者との調整が必要である。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を定期的に更新することで、災害に備えることができた。今後は、名簿を提供する避難支援等関係者を増やし、避難支援等関係者との連携を進める必要がある。並行して名簿情報の管理を適切に実施する必要がある。現在使用している管理システムが旧式であり、効率的なデータ管理ができなくなっていることから、システム更新する必要がある。									
企画政策課での評価とその理由										
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	避難行動要支援者名簿を定期的に更新し、関係者に適切に提供していることから成果を挙げていると認めることはできる。より一層支援者名簿登録者の増加に努めるとともに、名簿を提供する避難支援関係者に適切に配布することで、災害への備えに努めていただきたい。									
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者名簿の更新回数 ・避難支援登録制度の周知 					<ul style="list-style-type: none"> ・避難支援登録制度登録者数 				
令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を作成し、定期的に更新することで災害に備える。避難行動要支援者名簿を避難支援等関係者に適切に提供する。避難支援登録制度を活用して避難支援を必要とする者の個別計画を作成する。システム更新について具体的な検討を行う。					避難行動要支援者名簿の定期的(年6回:5月、7月、9月、11月、1月、3月)な更新を行う。避難支援登録制度を活用して個別計画を随時作成する。					

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	02	防災行政無線施設事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	01	防災行政無線施設事業

実施計画整理番号	
308020201	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	災害発生時における市民への迅速かつ的確な情報伝達手段として整備している防災行政無線屋外子局のデジタル化及び新設を行い、機能向上と難聴地区の解消を図る。	老朽化している防災行政無線屋外子局のデジタル化への更新、難聴地区解消のための新設を行う。
	令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
・新設及び既存屋外子局のデジタル化を合わせ19局の子局デジタル化を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 既存屋外子局のデジタル化工事及び屋外子局新設 ・6月から10月 契約、機材の発注等 ・11月 工事開始 ・翌年2月 工事完了 	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	77,201	77,201	77,199	77,201	77,201	77,199	83,930	83,930	83,930	83,930	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	77,200	77,200	77,100	77,200	77,200	77,100	83,900	83,900	83,900	83,900	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1	1	99	1	1	99	30	30	30	30	0	0

DO (実施)	個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
			計画	予算	決算	
	①	防災行政無線屋外子局のデジタル化及び新設	83,930	83,930	83,930	計画通り19箇所のデジタル工事を実施した。今後も計画的に工事を行い、全ての子局のデジタル化を行う。
	②					
	③					
	④					
	⑤					
	⑥					
	⑦					
	⑧					
	⑨					
⑩						
事業費計			83,930	83,930	83,930	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

赤目川B調節池、県営上永吉住宅公園の2箇所を新設したことにより、難聴地区の解消に努めた。既存のアナログ局17局のデジタル化を実施した。防災行政無線子局数が158局のうち132局となり、デジタル化率が72.4%から83.5%に上昇した。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	02	防災行政無線施設事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	01	防災行政無線施設事業

整理番号
308020201

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況
既存屋外子局のデジタル化の更新17局の実施及び難聴地域への屋外子局の新設2局を計画通り実施した。	防災行政無線デジタル化局数の増加により、デジタル化率83.5%(158局中132局)に上昇した。 また、新たに2局新設したことにより、難聴地域の一部が解消された。

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	防災行政無線の整備は、市しか関与できないものである。	A:有効である	防災行政無線は、防災情報等の伝達に有効な施設であり、新設により、難聴地域対策も行っている。	C:あまり効率的ではない	デジタル化による工事費がかかるうえ、子局の増設により維持管理が増加する。また、台風後に修繕等が必要となってくる。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	防災行政無線デジタル化工事に関係する自治会に自治会回覧を行っている。	A:実現している	住民からの要望により、スピーカーの角度の調整等を実施している。	C:実現の余地がない	デジタル化工事については、市と事業者との契約のため、協働の余地はない。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	令和4年11月30日でアナログ放送が使用できなくなるため、令和3年度中に全ての子局のデジタル化を実施する必要がある。デジタル化の更新により、施設の老朽化改善や音質の向上が図られた。また、子局の新設により一部難聴地域の解消が図られた。 しかしながら、難聴地域の解消や近年の住宅の遮音性の向上による情報伝達方法に課題があり、安全安心メールやYAHOO防災メール等を活用するなどの、周知が必要となってくる。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	計画的且つ適切な事業実施が行われている。難聴地域の解消に努めるとともに、有効な情報伝達方法の活用について、更なる周知を図るものとする。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定
既存屋外子局のデジタル化による更新13局	デジタル化率の向上

令和2年度における具体的な目標	令和2年度における事務事業スケジュール
既存屋外子局のデジタル化による更新を13局行う。	既存屋外子局のデジタル工事 8月～10月 契約・機材の発注等 11月 工事着工 令和3年3月 工事完了

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	02	災害非常用対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	03	災害非常用対策事業

実施計画整理番号	
308020202	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
PLAN (計画)	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)
	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	市民の被災の予防や被害の軽減を図る。
地域防災訓練の実施、防災気象情報システムの運用、災害備蓄品の整備、各種計画の策定、改定などの災害対策事業を行い、被害の軽減を図る。	
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
・災害対策本部の機能を強化し災害対応力の向上を図る。 ・防災マップ、洪水ハザードマップを統合し、住民に対してわかりやすい情報提供を行う。 ・看板改修や避難支援用具の作成により避難環境の整備を行う。 ・住民参加型の地域防災訓練を実施し、地域住民の災害に対する意識の高揚や行動力の向上を図る。	・防災マップ、洪水ハザードマップの統合(8月～3月) ・避難環境の整備(看板改修、避難支援用具作成)(8月～3月) ・備蓄食料の更新(8月～11月) ・地域防災訓練(豊岡地区)の開催(9月) ・防災メール、自動電話サービスの加入促進(常時) ・気象情報システムの運用(常時)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	12,375	12,375	12,027	12,182	14,645	14,342	17,333	20,600	14,370	7,114	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	1,688	1,671	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	2,218	2,218	2,159	1,044	2,518	2,510	1,720	1,720	1,552	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	10,157	10,157	9,868	11,138	10,439	10,161	15,613	18,880	12,818	7,114	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	防災備蓄品の整備	4,911	8,178	7,567	備蓄食料等の更新を行った。今後も計画的に更新を行った。また、災害時支援用バンダナを作成、購入した。
②	地域防災訓練の実施	20	20	2	地域防災訓練を豊岡地区において実施した。
③	もばら安全安心メール配信	342	342	340	台風等の災害情報の提供を行った。引き続き随時情報の提供に努めていく。
④	災害気象情報システムの運用	3,867	3,867	3,867	防災気象情報を取得し、災害等への対応を行った。今後もより精度の高い情報の取得に努める。
⑤	地域防災計画の改定	687	617	0	災害の影響により、次年度に改定を行う。
⑥	国民保護計画の改定	216	286	286	国民保護計画の印刷製本をを200部行った。
⑦	避難所看板の改修	2,430	2,430	2,308	指定避難所標識看板改修を20箇所行い、全ての改修が終了した。
⑧	防災マップの更新	4,860	4,860	0	次年度へ繰越し
⑨					
⑩					
事業費計		17,333	20,600	14,370	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
備蓄用不織布毛布及び災害時支援用バンダナの購入、配備 消費期限を迎える備蓄食料等の更新 防災気象情報システム委託 防災メールの配信 地域防災訓練の実施 避難所標識看板の改修

PLAN (計画)

DO (実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	308020202
3	08	02	02	災害非常用対策事業	2	01	14	03	災害非常用対策事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況				令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	備蓄食料の更新(13,380食)及び粉ミルク新規購入 地域防災訓練の実施(豊岡地区) もばら安全安心メール、自動電話サービス加入促進について広報等にて周知				食料備蓄率約60.7%(人口の15%が避難し、1日2食3日分で計算した場合) 地域防災訓練の参加者数313人 もばら安全安心メール加入者数5,068人 自動電話サービス加入者数89人			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	災害対策や備蓄品の整備は市の責務である。	A:有効である	備蓄品の管理や本部体制の整備は災害対策上必要である。	B:やや効率的である	備蓄率の向上とともに、更新等の経費が増大する。また、保管場所の問題も発生する。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	ウェブサイトでの掲載を行っている。	A:実現している	防災訓練等は、事前に自治会等と協議を行い実施している。	A:実現している	地域防災訓練等において、自治会や自主防災組織等、地域の関連団体と連携して取り組んでいる。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	備蓄食料の更新等、当初の計画通り実施した。また、災害時にも緊急的に備蓄品の購入も行った。地域防災訓練については、当初の計画通り豊岡地区2会場で実施し、地域住民の災害に対する意識や行動力の向上を図ることができた。							
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	備蓄品の管理及び更新等、計画的に実施しており、地域防災訓練等についても概ね計画どおり実施している。引き続き、市民の被災の予防や被害の軽減に努めるとともに、より一層の防災教育の推進のため関係機関との連携強化に努めていきたい							
政策調整会議での評価とその理由								
(この欄は斜線が入ります)								
庁議における方針								
(この欄は斜線が入ります)								

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定				令和2年度成果指標(アウトカム)の設定			
	洪水ハザードマップの更新及び市民への配布 避難環境の整備 備蓄食料の更新 住民参加型地域防災訓練の実施(高師地区) もばら安全安心メール、YAHOO防災速報の加入促進				備蓄食料の備蓄率 地域防災訓練の開催及び参加者数 もばら安全安心メール、YAHOO防災速報の加入者数			
令和2年度における具体的な目標				令和2年度における事務事業スケジュール				
災害対策本部の機能を強化し、災害対応力の向上を図る。 洪水ハザードマップを改訂し、市民に対してわかりやすい情報提供を行う。 住民参加型の地域防災訓練を実施し、地域住民の災害に対する意識の高揚や行動力の向上を図る。				洪水ハザードマップの改訂および配布(5月) 備蓄食料の更新(9月~12月) 地域防災訓練(高師地区)の実施(3月) もばら安全安心メール、YAHOO防災速報の加入促進(常時) 気象情報システムの運用(常時)				

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	09	01	01	防犯対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	02	防犯対策事業

実施計画整理番号	
309010101	
総合戦略 整理番号	42103

事務事業の概要	
PLAN (計画)	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)
	活動内容(目的を達成するために何をを行うか)
	令和元年度の具体的な目標
	令和元年度スケジュール
市民が安心して暮らせるよう、各防犯団体と協力し、犯罪の防止と市民の防犯意識の高揚を図る。	防犯パトロール活動の実施 防犯関係団体への活動支援
・年間を通じた防犯パトロール。 ・関係団体との連携と助成。 ・広報啓発活動。	・年間を通じた防犯パトロール

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	4,179	4,179	3,890	4,578	4,764	4,633	2,728	2,728	2,695	2,898	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	150	250	246	125	125	125	125	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,179	4,179	3,890	4,428	4,514	4,387	2,603	2,603	2,570	2,773	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	自主防犯団体活動支援	406	406	382	自主防犯団体の活動に寄与した。支援の継続が必要である。
②	防犯パトロール活動	333	333	324	市職員、防犯ボックス勤務員による防犯パトロールを行った。
③	防犯活動団体への補助金・負担金交付	1,989	1,989	1,989	2団体に対して助成金を交付した。助成の継続が必要である。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		2,728	2,728	2,695	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
・防犯パトロールの実施(市防犯組合、自主防犯団体、市職員、防犯ボックス勤務員) ・関係団体(茂原警察署、茂原警察署管内防犯組合連合会、茂原市防犯組合)との連携と助成 ・「電話de詐欺」防止街頭啓発(モバリん参加) ・パトロール用資材・装備品の配布	

PLAN
(計画)

DO
(実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	309010101
3	09	01	01	防犯対策事業	2	01	13	02	防犯対策事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況 ・自主防犯組織の助成(傷害保険1,026人:138,000円)・防犯パトロール(市防犯組合:10団体のべ135回、自主防犯団体35団体4,323回)・関係団体への助成(茂原警察署管内防犯組合連合会1,779,000円、茂原市防犯組合210,000円)・「電話de詐欺」防止街頭啓発(モバリン参加 アスモ等7回)・パトロール用資材・装備品の配布(防犯ベスト、ヘッドライト、帽子、腕章:249,750円:内県補助124,875円)					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況 犯罪認知件数の減少 489件(前年比-184件)				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である 安全安心なまちづくりの実現に向けた取り組みを行った。		A:有効である 犯罪認知件数が、減少傾向であるため。			A:効率的である 引き続き、犯罪を地域からなくす環境づくりを進める必要がある。				
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している 関係団体との連携や助成、広報啓発活動を行った。		A:実現している 自主防犯組織への助成等、関係団体との連携を通じて取り組みを行った。			A:実現している 関係団体との連携を通じて、取り組みを行った。				
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		犯罪認知件数が減少し、十分な成果を挙げることができた。課題として、市内各地域の犯罪をなくすため、地域住民が一体となった防犯体制の整備や環境づくりを、より一層すすめる必要がある。							
	企画政策課での評価とその理由									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		犯罪認知件数の減少は、防犯対策事業を実施した成果であり、市民の防犯意識の高揚にも寄与したと認められるものである。今後もより一層、関係団体との連携を強化するとともに犯罪撲滅に向けて努めるものとする。							
	政策調整会議での評価とその理由									
庁議における方針										

A C T (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定 ・防犯関係団体との連携と助成の実施回数 ・防犯パトロールの実施回数(市防犯組合、自主防犯団体、防犯ボックス勤務員、市職員等) ・「電話de詐欺」防止街頭啓発(モバリン)等の広報啓発活動数 ・茂原警察署管内暴力団排除対策協議会への参加回数					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定 ・犯罪認知件数の減少				
	令和2年度における具体的な目標 ・年間を通じた防犯パトロールの実施。 ・関係団体との連携と適正な助成の実施。 ・広報啓発活動。					令和2年度における事務事業スケジュール ・年間を通じた防犯パトロール				

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	09	01	01	防犯ボックス事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	05	防犯ボックス事業

実施計画整理番号	
309010102	
総合戦略 整理番号	42103

事務事業の概要	
<p>事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)</p> <p>生活の安全を確保し、住民が安心して暮らせる社会をめざし、防犯ボックスを核に警察官OBを非常勤職員として採用し巡回パトロールや、犯罪多発地域の重点警戒、市民への啓発活動等を実施することで、自分たちの地域は自分たちで守るとい地域住民の防犯に対する意識の醸成を図る。</p>	<p>活動内容(目的を達成するために何を行うか)</p> <p>平成27年中の人口千人当たりの刑法犯認知件数について、本市は千葉県内ワースト3位(12.6件/千人)となっていることから、地域の自主的な防犯力向上のために日常的に助言を行える体制の確保や防犯関係団体と連携したパトロールを実施する。</p>
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 防犯ボックス事業の調整・協議 年間を通じた合同パトロールの実施、見守り、街頭監視 広報啓発活動 防犯関係団体との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じた合同パトロールの実施、見守り、街頭監視 広報啓発活動 防犯関係団体との連携

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	2,720	2,720	2,540	9,631	10,639	9,668	9,799	9,932	9,828	9,769	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	2,489	2,489	2,406	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	231	231	134	3,631	4,639	3,668	3,799	3,932	3,828	3,769	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	防犯ボックス運営	9,714	9,847	9,754	県補助金を活用し、適正な運営を行った
②	防犯啓発活動	85	85	74	防犯組合との合同パトロールや、自主防犯団体に指導助言を行った。「防犯ボックスだより」を作成し市民に周知した。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		9,799	9,932	9,828	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

363日開所(1/1~1/3は閉鎖)
 防犯組合との合同パトロール、自主防犯団体に対する指導助言、街頭監視活動、見守り活動、警察署への引継、教育機関への広報活動を実施
 東郷小学校区青少年育成会議にて防犯講話の実施
 令和元年10月の災害時における空巢被害対策用啓発物の配布及び被害ゴミ置き場の警戒活動、行方不明者の捜索活動を実施

PLAN(計画)

DO(実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	309010102
3	09	01	01	防犯ボックス事業	2	01	13	05	防犯ボックス事業	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	363日開所(1/1~1/3は閉鎖) 防犯組合との合同パトロール(27回)、自主防犯団体に対する指導助言(24回)、街頭監視活動(1,185回)、見守り活動(683回)、警察署への引継(4回)、教育機関への広報活動(716回)					犯罪認知件数の減少 489件(前年比-184件)				
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由			
	B:ほぼ妥当である 年間を通じて勤務員による市内全域のパトロール、街頭監視活動や見守り活動、並びに合同パトロールや指導助言を行った。			A:有効である 防犯講話の実施や、災害時における空巢被害対策用啓発物の配布及び被害ゴミ置き場の警戒活動、行方不明者の捜索活動を行った。			A:効率的である 市内全域のパトロール、街頭監視活動や見守り活動、並びに合同パトロールや指導助言を行った。			
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由			
	A:実現している 「防犯ボックスだより」を作成し、自治会回覧にて市民に犯罪情報等を周知した。			A:実現している 防犯組合との合同パトロールや、自主防犯団体に対する指導助言をした。			A:実現している 防犯組合との合同パトロールや、自主防犯団体に対する指導助言をした。			
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 防犯組合との合同パトロールや自主防犯団体に対する指導助言、防犯講話の実施や災害時における空巢被害対策用啓発物の配布及び被害ゴミ置き場の警戒活動、行方不明者の捜索活動を行い、十分な成果を挙げることができたと捉えている。 課題として、県からの補助金が5年間しかないので、今後の継続を検討する必要がある。									
	企画政策課での評価とその理由									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上) 防犯ボックス事業により犯罪認知件数の減少に寄与したと認めることができる。引き続き、防犯ボックス、防犯関係団体との連携を強化するとともに、地域住民の防犯に対する意識高揚に努めることとする。									
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										
ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯ボックスの開所日数 ・防犯関係団体との連携した合同パトロール、見守り活動、街頭監視活動の実施回数 ・防犯関係団体に対する指導・助言回数 					<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪認知件数の減少 				
令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> ・県との防犯ボックス事業の調整・協議を実施し連携を図る ・年間を通じた合同パトロールの実施、見守り活動及び街頭監視活動の実施 ・広報啓発活動による市民への周知を図る ・防犯関係団体との連携による防犯力向上を図る 					<ul style="list-style-type: none"> ・県との防犯ボックス事業の調整・協議(随時) ・年間を通じた合同パトロール、見守り活動、街頭監視活動の実施 ・広報啓発活動(随時) ・防犯関係団体との連携(随時) 					

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	09	01	02	防犯設備設置・管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	01	防犯設備設置・管理費

実施計画整理番号	
309010201	
総合戦略整理番号	42103

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 市民が安全で安心して暮らせるよう市内に防犯設備の設置及び維持管理を行う。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) ・防犯灯の設置、維持管理 ・防犯カメラの設置、維持管理 ・自治会所有の防犯灯への維持管理補助 ・青パトドライブレコーダーの設置、維持管理
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
・犯罪認知件数の減少 ・防犯灯、防犯カメラの維持管理・設置・移管 ・自治会への防犯灯維持管理費の助成	・防犯灯の維持管理・設置・移管 ・防犯カメラの設置 ・自治会への防犯灯維持管理費の助成

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	29,958	34,197	33,056	29,735	36,879	36,096	34,607	34,607	34,300	32,275	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	174	1,679	1,679	0	0	2,000	800	800	800	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	29,784	32,518	31,377	29,735	36,879	34,096	33,807	33,807	33,500	32,275	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	防犯灯の設置・維持管理	30,194	30,111	29,995	30灯の新規設置を行い、既存箇所の継続管理を行った。
②	防犯カメラの設置・維持管理	2,493	2,597	2,567	4台を新規設置した。適切な維持管理に努める。
③	自治会所有の防犯灯への維持管理補助	1,920	1,899	1,738	67自治会に、適切に補助金を交付した。引き続き補助する。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		34,607	34,607	34,300	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・防犯灯の設置、移管、維持管理 ・自治会所有防犯灯への維持管理の助成 ・防犯カメラの維持管理・新設

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	09	01	02	防犯設備設置・管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	01	防犯設備設置・管理費

整理番号
309010201

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	・防犯灯の維持管理数(8,333灯)・防犯灯の設置数(30灯)、自治会から市への移管数:114灯、事業者:7灯・自治会への防犯灯維持管理費の助成(67自治会・1,050灯・1,738,094円)・防犯カメラの維持管理数(48台)		犯罪認知件数の減少 489件(前年比-184件)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である 防犯灯の維持・設置・維持管理費の助成、防犯カメラの設置等、安全安心なまちづくりの実現に向けた取り組みを行った。		A:有効である 犯罪認知件数の減少等、取り組みの成果を得た。		B:やや効率的である 引き続き犯罪を地域からなくす環境づくりを進める必要がある。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している 維持管理費の助成については自治会に、防犯カメラの設置については、防犯組合及び広報にて市民に周知した。		A:実現している 防犯灯の設置や自治会の防犯灯管理費の助成等の取り組みを行った。		A:実現している 防犯灯の設置や自治会への助成等を通じて取り組みを行った。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		犯罪認知件数が減少したため、十分な成果を挙げることができたと捉えている。課題として、市でリース契約をしている防犯灯については、適切な更新の実施、維持管理していく必要がある。また自治会が所有している防犯灯、商店街が所有している街路灯については、近年、解散などで維持管理が困難なものが増加しており、防犯灯については移管、街路灯については、防犯上空白地帯とならない様、新設等の対策が必要となる。				
企画政策課での評価とその理由						
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		各種防犯設備設置の取組の実施は、犯罪認知件数の減少に寄与したものと認められるものである。引き続き、近年の社会情勢を踏まえた設置・管理及び移管について努めることとする。				
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入っています)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入っています)						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	・防犯灯の維持管理・設置・移管 ・自治会への防犯灯維持管理費の助成 ・防犯カメラの維持管理		・犯罪認知件数の減少	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
・犯罪認知件数の減少 ・防犯灯、防犯カメラの維持管理・設置・移管 ・自治会への防犯灯維持管理費の助成		・防犯灯の維持管理・設置・移管 ・防犯カメラの設置 ・自治会への防犯灯維持管理費の助成		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	01	交通安全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	01	交通安全対策事業

実施計画整理番号	
310010101	
総合戦略 整理番号	42104

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 警察や交通安全活動団体と連携し、市民に対して交通安全に関する知識の普及と交通安全思想の高揚を図る。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 交通安全運動啓発 各世代における交通安全教室等の安全教育の実施 交通安全推進市民大会の開催
令和元年度の具体的な目標 交通事故発生件数の減少	令和元年度スケジュール ・四季の交通安全運動、シートベルト・チャイルドシート着用等の街頭啓発、広報活動。 ・交通安全関係団体(茂原警察署、茂原交通安全協会茂原支部、茂原市交通安全母の会、茂原地区安全運転管理者協議会、茂原地域交通安全活動推進委員協議会)との連携と助成。 ・交通安全フェア☆もばら(茂原市交通安全推進市民大会)、交通安全ポスター展の開催

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	970	970	916	970	961	913	961	961	780	926	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	970	970	916	970	961	913	961	961	780	926	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	交通安全啓発活動	405	405	225	四季の交通安全運動を始めとする広報活動を実施。引き続き活動を推進する。
②	交通安全活動団体等への補助金・負担金交付	556	556	555	各団体等へ補助金を交付し、当初の予定通り達成できた。引き続き支援する。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		961	961	780	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・四季の交通安全運動、シートベルト・チャイルドシート着用等の街頭啓発、広報活動。
- ・交通安全関係団体(茂原警察署、茂原交通安全協会茂原支部、茂原市交通安全母の会、茂原地区安全運転管理者協議会、茂原地域交通安全活動推進委員協議会)との連携と助成。
- ・交通安全ポスター展の開催。【交通安全フェア☆もばら(茂原市交通安全推進市民大会)については、感染症予防対策により中止とした。】

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	01	交通安全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	01	交通安全対策事業

整理番号
310010101

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・四季の交通安全運動等の街頭啓発(6回) ・関係団体への助成(556千円) 	<ul style="list-style-type: none"> ・茂原警察署管内と市内の交通事故発生件数 茂原警察署管内:交通事故発生件数 411件 死亡者数 8人 茂原市内:交通事故発生件数 280件 死亡者数 3人 ・高齢者に関する交通事故発生件数 茂原警察署管内:172件 ・自転車に関する交通事故発生件数 茂原警察署管内:83件 ・交通安全推進市民大会の参加者数 0人(感染症予防対策により中止)

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	交通安全運動等の街頭啓発を行い、交通安全対策を推進した。	A:有効である	交通事故発生件数が減少した。	A:効率的である	効率的であるが、高齢者の運転免許自主返納対策や自転車保険加入促進等の交通安全対策の推進が必要である。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	街頭啓発、広報誌、市ウェブサイトにて周知を行った。	A:実現している	街頭啓発を関係団体と連携して行った。	A:実現している	街頭啓発、交通安全運動への協力を、関係団体と連携を通じて行った。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	交通事故発生件数は減少傾向にあり、本事業によるものと考え、十分な成果を挙げたものと考えている。引き続き、交通安全対策の推進に努める。 課題として、茂原市交通安全母の会が令和2年3月末日をもって解散するため、母の会主催行事(新入学児童への反射ランドセルステッカー配布及び交通安全フェア☆もばら)の開催方法、規模、内容を検討する必要がある。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	本事業の実施により交通事故発生件数の減少に寄与したと認めることができる。今後も関係団体との連携して事業を実施し、更なる交通事故発生件数の減少に努めていただきたい。 交通安全推進市民大会は連携した啓発活動の一つであるため、開催方法等を十分検討いただきたい。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定
<ul style="list-style-type: none"> ・四季の交通安全運動等の街頭啓発回数 ・関係団体と連携した交通安全教室等の実施回数 	<p style="text-align: center;">市内交通事故発生件数の減少</p>

令和2年度における具体的な目標	令和2年度における事務事業スケジュール
<p>交通事故発生件数の減少</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四季の交通安全運動、シートベルト・チャイルドシート着用等の街頭啓発(毎月10日)、広報活動(随時) ・交通安全関係団体(茂原警察署、茂原交通安全協会茂原支部、茂原地区安全運転管理者協議会、茂原地域交通安全活動推進委員協議会)との連携と助成(随時) ・交通安全フェア☆もばら(茂原市交通安全推進市民大会)の開催(2月)

CHECK(評価)

ACT(改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	02	交通安全施設等整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	02	交通安全施設整備事業

実施計画整理番号	
310010201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 歩行者の安全を確保するために、通学路を中心とした歩道の整備等を推進する。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 歩道の工事等を実施する。
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
2-21...前年度に引続き工事を実施する。 1-9...県との調整を行い早期完成を目指す。 2-18...前年度に引続き工事を実施する。(R1完成予定)	2-21...上半期に工事を発注する。 1-9...県主体で工事を実施しているため、地元調整をする。 2-18...上半期に県と交差点協議を行い、下半期に工事を発注する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	146,077	134,232	84,743	59,000	152,202	118,948	93,000	110,399	49,108	147,000	0	0	
財源内訳	国補助	千円	41,123	41,123	14,905	19,200	44,841	29,792	43,751	43,751	22,905	71,100	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	93,100	93,100	10,900	17,800	82,100	24,300	43,300	43,300	20,000	68,300	0	0
	その他	千円	0	0	0	20,000	0	59,682	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	11,854	9	58,938	2,000	25,261	5,174	5,949	23,348	6,203	7,600	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	交通安全施設等整備工事(長谷/市道2級18号線)	12,000	15,840	0	工事費を契約繰越した。R2年度完成。
②	交通安全施設等整備工事(大芝/市道1級9号線)	1,000	2,161	2,074	予定箇所の整備は完了した。R1完成。
③	交通安全施設等整備工事(本納/市道3級2076号線)	80,000	12,929	12,876	予定箇所の用地買収等は完了した。今後も継続して事業を進める。
④	交通安全施設等整備工事(国府関/市道2級21号線)	0	76,620	31,309	一部工事費を繰越明許した。今後も継続して事業を進める。
⑤	交通安全施設等整備工事(立木/市道2級10号線)	0	0	0	
⑥	交通安全施設等整備工事(本納/市道1級17号線)	0	2,640	2,640	予定箇所の用地測量は完了した。今後も継続して事業を進める。
⑦	交通安全施設等整備工事(東郷/法定外道路)	0	209	209	予定箇所の用地測量は完了した。R1完成。
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		93,000	110,399	49,108	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

2-18...工事延長L=177.6m(契約繰越) R1年度完成。
 1-9...交差点改良工事(契約繰越) R1年度完成。
 3-2076...用地測量A=2.44ha、用地買収
 2-21...工事延長L=173.3m(完了) L=172.0m(契約繰越) 一部工事費を繰越明許した。
 1-17...現地測量A=1.0ha 用地測量A=0.5ha
 法定外...用地測量(登記申請資料作成)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	02	交通安全施設等整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	02	交通安全施設整備事業

整理番号
310010201

令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況 歩道整備延長距離 201m	令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況 整備率 59.6km/124Km 48.1%						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 33%;">妥当性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">有効性の評価とその理由</th> <th style="width: 33%;">効率性の評価とその理由</th> </tr> <tr> <td> A:妥当である 茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用できるような整備を行っている。また、市民からの要望も多い。 </td> <td> A:有効である 整備済箇所は歩道として供用出来るため、通行者の安全が図れた。 </td> <td> B:やや効率的である 整備延長が長く、単年度での完了は難しいため、現状維持が効果的である。 </td> </tr> </table>		妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由	A:妥当である 茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用できるような整備を行っている。また、市民からの要望も多い。	A:有効である 整備済箇所は歩道として供用出来るため、通行者の安全が図れた。	B:やや効率的である 整備延長が長く、単年度での完了は難しいため、現状維持が効果的である。
妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由					
A:妥当である 茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用できるような整備を行っている。また、市民からの要望も多い。	A:有効である 整備済箇所は歩道として供用出来るため、通行者の安全が図れた。	B:やや効率的である 整備延長が長く、単年度での完了は難しいため、現状維持が効果的である。					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 33%;">「情報の共有」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「参加」の状況とその理由</th> <th style="width: 33%;">「協働」の状況とその理由</th> </tr> <tr> <td> B:実現に向けて取り組んでいる 自治会回覧を行っている。 </td> <td> B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。 </td> <td> B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。 </td> </tr> </table>		「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由	B:実現に向けて取り組んでいる 自治会回覧を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。	B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。
「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由					
B:実現に向けて取り組んでいる 自治会回覧を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。	B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。					
所管による評価とその理由、課題・問題点 B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割) 自転車・歩行者の安全確保に関して概ね十分な成果をあげている。2-21他1路線について繰越した。未整備路線が多数あるので、事業拡大の必要がある。							
企画政策課での評価とその理由 B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割) 歩道の整備実施により、歩行者の安全確保に一定の成果があったと認められる。引き続き、地域住民及び関係者の意見調整を図るとともに、計画的な整備実施に努めていただきたい。							
政策調整会議での評価とその理由 <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%;"></div>							
庁議における方針 <div style="border: 1px solid black; height: 50px; width: 100%;"></div>							

令和2年度活動指標(アウトプット)の設定 歩道整備延長距離	令和2年度成果指標(アウトカム)の設定 整備率
令和2年度における具体的な目標 2-18...前年度に繰越した工事を実施する。(R2完成予定) 2-21...前年度に引続き工事を実施する。 1-17...路線測量、道路詳細設計、建物調査を実施する。 1-16...不動産鑑定評価、用地測量、用地買収、工事を実施する。 3-2076...用地測量を実施する。 2-34...工事を実施する。(R2完成予定)	
令和2年度における事務事業スケジュール 2-18...上半期に工事を完成する。 2-21...上半期に工事を発注する。 1-17...上半期に委託を発注する。 1-16...上半期に委託、工事を発注する。 3-2076...上半期に委託を発注する。 2-34...上半期に工事を発注する。	

CHECK(評価)

ACT(改善)

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	02	交通安全施設管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	01	交通安全施設管理費

実施計画整理番号	
310010202	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 交通事故防止のため、区画線やカーブミラー等の交通安全施設の整備補修を行う	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 通学路を中心とした学童の安全と、歩行者や自動車が安全に通行できるように区画線の設置や引き直しを実施する
令和元年度の具体的な目標 交通安全施設の整備補修を行う。	令和元年度スケジュール 地元要望箇所の整備を中心に、限られた予算で安全施設の整備を行う。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	3,066	17,380	17,034	3,066	17,079	16,677	12,382	14,573	6,633	6,880	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,066	17,380	17,034	3,066	17,079	16,677	12,382	14,573	6,633	6,880	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	区画線の補修	11,105	13,105	5,299	工事1件を繰り越したが、その他については概ね予定通り実施出来た。引続き補修を実施していく。
②	交通安全施設の整備	1,277	1,343	1,334	当初予定していた補修箇所については、概ね実施出来た。継続的に交通安全施設の整備・管理を実施していく。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		12,382	14,448	6,633	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- 交通安全施設の補修 7箇所
- 区画線設置(補修)延長 L=5,700m

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	02	交通安全施設管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	01	交通安全施設管理費

整理番号
310010202

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	・交通安全施設の補修 7箇所 ・区画線設置(補修)延長 L=5,700m		・交通安全施設の補修完了 7箇所 ・区画線設置(補修)延長 L=5,700m			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	市が設置している交通安全施設については市が主体的に整備補修する必要がある。	A:有効である	交通安全施設の整備補修により交通事故防止に寄与した。	B:やや効率的である	交通安全施設の補修が一部にとどまったため。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	C:実現の余地がない	交通安全施設の整備工事であり、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	交通安全施設の整備工事であり、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	交通安全施設の整備工事であり、取り組む余地がない。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当該年度の執行は概ね予定通りであったが、交通安全施設の整備補修箇所が多数残っている。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	概ね予定どおり事業実施していることから、一定の成果が挙げられたものと認められるものである。引き続き、交通事故防止のために効率的、計画的な事業の実施に努めていただきたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
(斜線表示)						
庁議における方針						
(斜線表示)						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	・交通安全施設の補修箇所数 ・区画線設置(補修)延長 L=10,000m		・交通安全施設の補修が完了した箇所数 ・区画線設置(補修)延長 L=5,700m ・整備率=95.0%	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
交通安全施設の整備補修を行う。		地元要望箇所の整備を中心に、限られた予算で安全施設の整備を行う。		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	05	放置自転車等対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	02	放置自転車等対策事業

実施計画整理番号	
310010501	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 放置自転車等による歩行者等の通行障害等を防止し、良好な都市景観と交通環境の確保を図る。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 放置自転車防止啓発活動 駅前放置自転車等の整理
令和元年度の具体的な目標 ・放置自転車の減少	令和元年度スケジュール ・定期的な放置自転車の撤去 ・年間を通じた広報啓発活動 ・市内高等学校での啓発活動(放置自転車クリーンキャンペーン)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	851	851	720	863	843	756	880	880	837	894	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	851	851	720	863	843	756	220	220	172	220	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	660	660	665	674	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	放置自転車等防止啓発	139	139	118	市内高等学校での啓発活動は悪天候のため中止となったが、市営自転車駐車場で啓発活動を実施した。今後も引き続き実施する。
②	放置自転車等整理業務委託	683	683	683	概ね達成できた。今後も引き続き実施する。
③	放置自転車等対策委員への報酬、団体への負担金交付	58	58	36	自転車等駐車対策協議会を開催した。今後も必要に応じて開催する。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		880	880	837	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・放置自転車クリーンキャンペーン等の広報啓発活動
- ・駅前放置自転車整理委託(公益社団法人茂原市シルバー人材センター)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	05	放置自転車等対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	02	放置自転車等対策事業

整理番号
310010501

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の撤去台数 242台 ・啓発活動数 57回 		放置自転車の台数は昨年度より56台増 ※令和元年度より撤去台数に本納臨時駐車場内の放置車両(56台)を含めている。当該車両分を除くと横ばいの状況である。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である 「自転車等放置防止に関する条例」に基づいた事業の実施のため。		A:有効である 駅前環境の美観の維持に寄与している。		A:効率的である 放置自転車の状況により、見直しを行っている。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している 放置車両の所有者に対する引取通知。禁止区域標識や広報による周知。駅前放置自転車クリーンキャンペーンでの啓発活動の実施。		A:実現している 自転車等駐車対策協議会を開催した。		A:実現している 自転車等駐車対策協議会を開催した。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		良好な都市景観及び交通環境の確保に努めた。引き続き、放置自転車の減少に努める。			
	企画政策課での評価とその理由					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		本事業は、歩行者等の通行障害等の防止に一定の成果を挙げたと認められる。今後も良好な都市環境と交通環境のため、より一層効果的な啓発活動等を実施することで放置自転車の減少に努めていただきたい。			
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の撤去台数 ・啓発活動数 		<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の減少率 	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の減少 		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な放置自転車の撤去 ・年間を通じた広報啓発活動 ・市内高等学校等での啓発活動(放置自転車クリーンキャンペーン) 		

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	05	自転車駐車場管理運営費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	03	自転車駐車場管理運営費

実施計画整理番号	
310010502	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
PLAN (計画)	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)
	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	駅周辺の良好な交通環境整備のため、自転車駐車場を管理運営する。
令和元年度の具体的な目標	
令和元年度スケジュール	
・自転車駐車場利用者数の現状維持以上 ・放置自転車の減少	
・自転車駐車場業務委託(4月:年度協定) ・年間を通じての施設管理	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	39,367	39,367	39,305	39,367	39,022	38,993	39,503	39,877	39,615	39,709	0	0	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	39,367	39,367	37,077	39,367	39,022	36,592	38,157	38,157	34,561	39,302	0	0
	一般財源	千円	0	0	2,228	0	0	2,401	1,346	1,720	5,054	407	0	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	自転車駐車場施設管理	1,173	1,547	1,301	指定管理者による適切な業務が行われた。引き続き業務の指導を行う。
②	自転車駐車場業務委託	34,468	34,468	34,453	指定管理者による適切な業務が行われた。引き続き業務の指導を行う。
③	自転車駐車場用地借上げ	3,862	3,862	3,861	引き続き用地借上げを行い管理する。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		39,503	39,877	39,615	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)
・指定管理者(公益社団法人茂原市シルバー人材センター)と年度協定書の締結 ・自転車駐車場の維持管理及び本納臨時駐輪場の舗装補修 ・本納臨時駐輪場の管理要綱の制定及び舗装補修工事の実施 ・自転車駐車場用地の借上げ(東日本旅客鉄道株式会社)

PLAN (計画)

DO (実施)

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	310010502
3	10	01	05	自転車駐車場管理運営費	2	01	12	03	自転車駐車場管理運営費	

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場の駐車可能台数 7箇所 3,606台 ・施設利用の促進・啓発活動数 2回 ・自転車駐車場利用件数 (延べ 定期申請:16,792件、一時利用:59,747件、還付:12件) ・放置自転車の撤去台数 242台 					<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場利用件数は、定期申請及び一時利用とも減少している。 ・放置自転車の台数は昨年度より56台増 ※令和元年度より撤去台数に本納臨時駐車場内の放置車両(56台)を含めている。当該車両分を除くと横ばいの状況である。 				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である		A:有効である			A:効率的である			7箇所ある自転車駐車場を指定管理者が一体的に管理している。	
	「茂原市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例」に基づいた事業の取り組みを行った。		放置自転車の防止と安全な交通環境の確保、駅前環境の美観の維持に寄与している。							
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している		A:実現している			A:実現している			指定管理者と連携しながら、適切な管理に努めた。	
	広報や市ウェブサイト等で周知した。		指定管理者が利用者の意見書を場内で集め、市と協議し運営に反映させている。また、アンケート調査も実施した。							
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		駅前での放置自転車の状況からもある程度の成果を挙げている。課題として、茂原駅付近に民間の駐輪場が設置されるなどから利用者が年々減少傾向であり、委託料や施設維持管理費用が増加傾向にあることから、今後の施設運営について検討する必要がある。							
企画政策課での評価とその理由										
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		駅周辺の良好な交通環境の整備に一定の成果があったと認めることができる。今後は、より一層の施設利用促進の啓発と利用者の利便性向上に向けた管理を実施することで、利用者の増加を図るとともに、今後の運営について検討するものとする。								
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定					令和2年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場の駐車可能台数 ・施設利用の促進・啓発活動数 ・放置自転車の撤去台数 					<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場利用件数 ・放置自転車の減少率 				
令和2年度における具体的な目標					令和2年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場利用件数の現状維持 ・放置自転車の減少 					<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場業務委託(4月:年度協定) ・年間を通じての施設管理 					

令和元年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	11	01	01	消費生活相談事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	02	消費生活相談事業

実施計画整理番号	
311010101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
消費者の保護を図るため、消費生活相談体制の充実に努める。 また、トラブルを未然に防ぐため、市民を対象とした消費生活講座や中学生を対象とした出前授業を行い、消費生活に関する知識の普及や啓発に努める。	消費生活相談の実施 消費生活支援講座・消費生活講座の実施 出前授業の実施
令和元年度の具体的な目標	令和元年度スケジュール
・消費生活相談員、担当職員の研修参加により資質向上を図る。 ・見守りネットワーク構築のため庁内の連携を図る。	通年 消費生活相談の実施、相談員の研修参加、啓発活動 R1.9～11月 中学1年生に対する出前授業 R1.9 消費生活支援講座 R1.9～11 消費生活講座(全3回)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	2,810	2,810	2,796	2,755	2,769	2,296	2,765	2,765	2,355	2,718	0	0
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	2,245	2,245	2,239	2,362	2,319	1,777	1,000	1,000	1,595	500	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	565	565	557	393	450	519	1,765	1,765	760	2,218	0

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	消費生活相談の実施	2,084	2,084	1,705	消費生活相談を平日毎日実施した。引き続き相談体制の充実に努める。
②	かしこい消費者づくりの推進	506	500	500	各種講座等を開催し、消費者意識の高揚に努めた。今後も消費者教育の推進に努める。
③	消費生活センターの運営	175	181	150	消費生活センターを適正に運営した。引き続き適正な運営に努める。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		2,765	2,765	2,355	

令和元年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・消費生活相談を平日毎日実施
- ・消費生活講座、消費生活支援講座の開催
- ・NPO主催の子どもあそびひろばにて消費生活コーナーを開催
- ・相談員の研修のため弁護士による研修会の開催及び国・県等への研修に積極的に参加し、資質向上に努めた。
- ・市内全中学1年生を対象に啓発用冊子を活用し、消費生活に関する出前授業を実施。

令和元年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	11	01	01	消費生活相談事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	02	消費生活相談事業

整理番号
311010101

CHECK (評価)	令和元年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和元年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> 相談件数941件 消費生活支援講座(1回)、消費生活講座(3回)の実施 市内6中学校へへの出前授業の実施 広報、センターだよりによりセンターの周知を図った。 		<ul style="list-style-type: none"> 消費生活支援講座(1回58人)、消費生活講座(3回・延べ70人)の実施 講座アンケートによる満足度は講演会90%以上、消費生活講座80%以上 広報、センターだよりにより、2回センターの周知を図った。 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である 消費生活相談は地方自治体が行うべき行政サービスである。		A:有効である 市民の消費者トラブル防止・解決に有効である。		A:効率的である 専門の相談員を常時2人態勢を維持するため、今後も相談員の待遇改善に努める必要がある。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している 広報等により消費生活センターの周知及び事例紹介・情報提供などを定期的実施している。		B:実現に向けて取り組んでいる 推進員等を通じて提言を受けける環境を整備していく。		A:実現している NPOと協働してイベントを実施している。センターの運営についても協働の可能性を検討していく。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		消費生活相談事業の実施により、消費者被害の未然防止・被害回復が図られた。しかし、相談体制の充実だけでは消費者被害はなくならないため、消費者被害の未然防止に向けた消費者教育と啓発活動を通して市民の消費生活の安定と向上に努める。また、消費生活上特に配慮を要する消費者の見守り等必要な取り組みを検討する。			
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		消費生活支援講座及び消費生活講座の満足度調査の結果からも十分な成果を挙げたと認められるものである。引き続き、消費者被害の減少に向けた取組に努めるとともに相談体制の強化を図っていただきたい。			
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	令和2年度活動指標(アウトプット)の設定		令和2年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活センターの周知回数 消費生活支援講座の実施回数 消費生活講座の実施回数 出前授業の実施回数 		<ul style="list-style-type: none"> 消費生活支援講座の満足度90%以上 消費生活講座の満足度80%以上 	
令和2年度における具体的な目標		令和2年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談の実施による被害の減少を図る。 相談員の研修参加による資質向上を図る。 啓発活動による市民への消費生活の知識向上を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談(通年) 消費生活相談員、担当職員の研修(随時) 消費生活に関する啓発活動(随時) 		